自動車用盗難警報装置

取扱説明書／保証書

守護神 SS－450

この度は自動車用盗難警報装置を、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目　次

COMTEC

P-Ver.1

はじめに (主な特徴)

衝撃＆電圧のダブルセンサーセキュリティーシステム搭載

●振動センサーと電圧センサーによる車輌監視システム

3パターンの警報音とLEDランプで不審者を威嚇

●スピーカー(標準装備)により日本語・英語・電子サイレンの3パターンからお好みの警報を選択可能
軽度・重度の2段階警報とアンテナユニット内蔵LEDランプで不審者を威嚇します。

折りたたみ式液晶リモコン採用

●折りたたみ式リモコン採用により、大画面表示でわかりやすさを追求
●充電式リモコン採用　付属のACアダプターで充電を行えば約4日間充電不要です(※セキュリティー機能OFFの場合)
●付属リモコン以外に、別売リモコンを追加登録可能です

エンジン始動確認をリモコンにお知らせ

●メロディー・ブザー・無音の3段階切替え式

環境にやさしいECOモード採用

●車内温度によってエンジンアイドリング時間を自動設定する省エネ機能

お好みのアイドリング時間とターボタイマー時間を設定

●エンジンアイドリング時間はマニュアル(10分～59分59秒)とECOモードの選択式
●ターボタイマー時間はマニュアルとセミオートの選択式
●グロー時間は5～10秒の選択式

大画面液晶アンテナユニットで多彩な機能が満載

●現在時刻・車内温度表示
●タイマースタート機能
●時刻によてバックライト照明の明るさを自動調整するオートディマー機能
●バックライト照明の色はレッド・グリーン・オレンジの3色から選択可能

電波視界到達距離　MAX　3000M(当社　測定最高値)

●本製品は特定省電力の認定を受けており、見通しの良い場所で最長約3000m(※1)
の通信が行えます(※2)

※1　当社測定による最高値
※2　場所によっては周囲の電波の影響を受け、通信距離が極端に短くなる場合もあります
また、車輌電気ノイズの影響でエンジン始動に比べ、停止させる方が短くなることがあります

ワイヤレスドアロック機能搭載

●リモコンで車輌ドアロック／アンロック操作ができます
一部の車種でオプションBe-965「ドアロックアダプター」が必要になります　(※3)

※3　詳しくは弊社「ビータイム車種別専用ハーネス表」をご覧いただくか、サービス部へお問い合わせ下さい

安全機能

●本製品は万一に備えた安全機能を採用しています。
1.　独立配線システム
2.　IDコードによる誤作動防止機能
3.　A/Tシフトストップ機能
4.　フットブレーキ回路　※3、4はどちらか選択になります
5.　ACC検出回路
6.　バッテリー電圧検出機能
7.　ボンネットセンサー回路　※オプション接続
8.　ドアオープン（カーテシ）ストップ回路　※オプション接続
9.　本体の消費電流を抑えるスリープ機能（8日間　車輌エンジンをかけなかった場合、リモコンでのエンジン始動ができなくなります）

危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

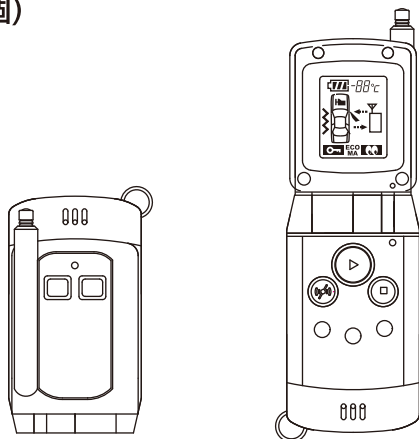
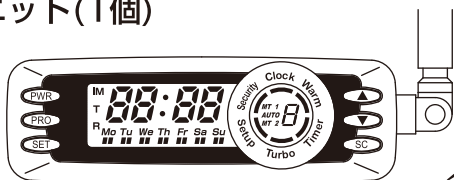
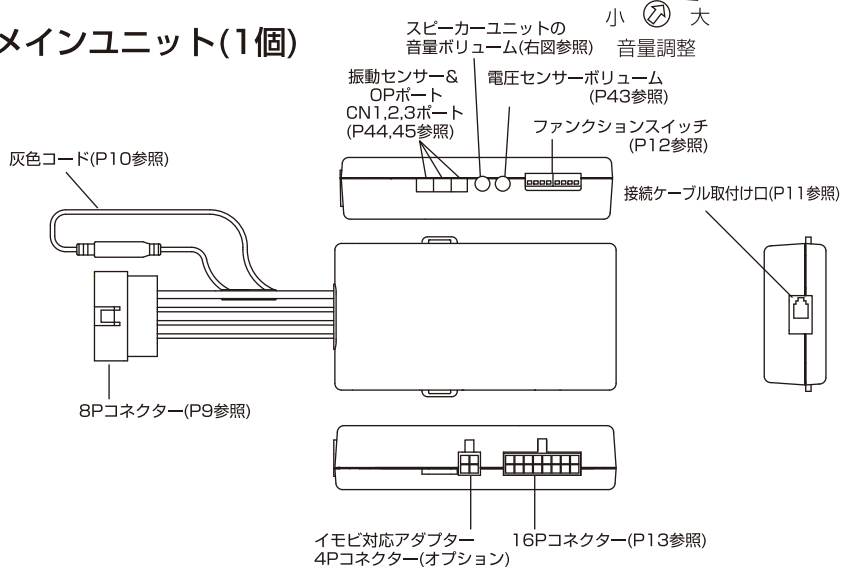
■公道や公共の駐車場での使用は道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
■排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
■ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
■火災の危険性がある燃えやすい物の近くでは、使用しないでください。
■暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はA／Tシフトレバーをパーキング[P]に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産A／T車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、パーキング[P]以外でもIGキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
■暖気運転の直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を充分に冷ましてから行ってください。
■お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
■リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
■マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。
事故になる危険性があります。

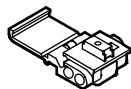
注意

車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。
■本機は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
■リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
■リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
■リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
■ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
■キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックは、リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
■本機作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
■オートライトコントロールシステムは、降車時にスイッチをOFFにしてからIGキーを抜いてください。(オートライト配線を行ってない場合)

IGキーでエンジン始動及び停止した場合、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、これは異常ではありません。

本機は車体への衝撃(オプション)や電圧変化を感知し、警告を行う機能がありますが、車上狙い、車輌盗難、車輌へのイタズラ等が発生しましても当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■リモコン(1個)
(電池内蔵)

■アンテナユニット(1個)

■メインユニット(1個)

■付属品

■エレクトロタップ(6個)

■サンバイザーステー(1個)

■コードクランプ(6個)

■両面テープ(サンバイザー取付用　1枚)

■ダッシュボードステー　(1個)

■両面テープ(ダッシュボードステー固定用　1枚)

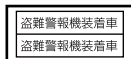
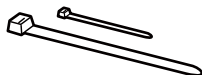
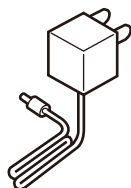
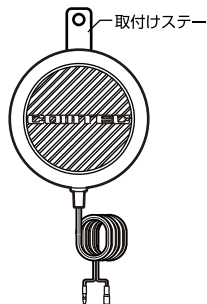
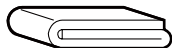
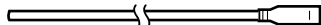
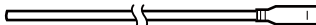
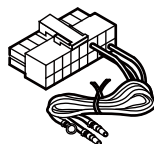
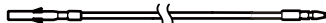
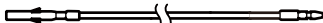
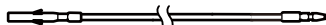
■接続ケーブル(1本)

■防犯警告ステッカーシート
※・2枚セットで1シートです。
　・車両の窓ガラス等に貼ってください。

盗難警報機装着車
盗難警報機装着車

■警告ステッカーシート（1枚）

■スピーカーユニット（1個）

取付けステー

■インシュロック
(大)　(3本)
(小)　(6本)

■専用ACアダプター(1個)

■保護テープ(1枚)

■フットブレーキ延長線(黄色)(P18参照)(1本)

■L端子延長線(白色)(P19参照)(1本)

■ 16Pコネクター(1個)
&アース端子線(黒色)(P10参照)(1本)
&フットブレーキ線(黄色)(P18参照)(1本)
&L端子線(白色)(P19参照)(1本)

■ドアロック端子線(緑色)(P61～63参照)(1本)

■ドアアンロック端子線(紫色)(P61～63参照)(1本)

■ドアポジション端子線(桃色)(P61～63参照)(1本)

■カーテシ端子線(青色)(P66参照)(1本)

はじめに（各部の名称【リモコン/アンテナユニット】）

■リモコン

■アンテナユニット

アンテナ
地面と垂直方向にすると送受信がより良くなります。

液晶表示ディスプレー
(下図参照)

パワースイッチ
電源をON/OFFします。

プログラムスイッチ
各モード設定に移動します。

セットスイッチ

PWR
PRO
SET
IM
T
R
88:88
Mo Tu We Th Fr Sa Su
Clock
Warm
Timer
Turbo
Setup
Security
MT 1
AUTO
MT 2
SC

UPスイッチ

DOWNスイッチ

セレクトスイッチ

ウォーニングランプ
セキュリティー機能をスタートすると、点滅します。(P51参照)

リセットスイッチ
リモコンのIDを登録する時に押します。
(P21、22参照)

取付け前の注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

❶ 取付けに必要な工具等

・サーキットテスター　・ドライバー　・ハサミ
・プライヤー　・スパナ又はボックスレンチ
・カッターナイフ　・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

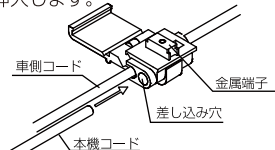
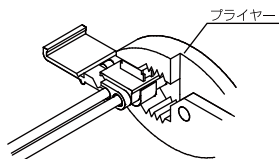
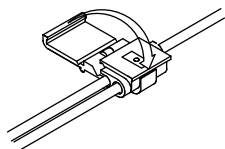
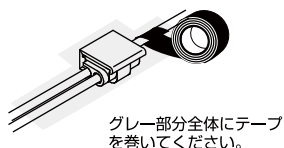
❷ シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

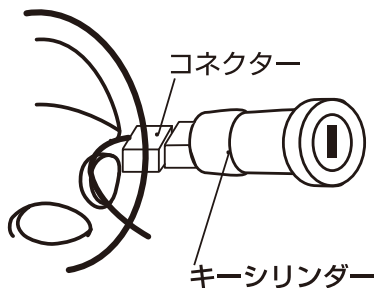
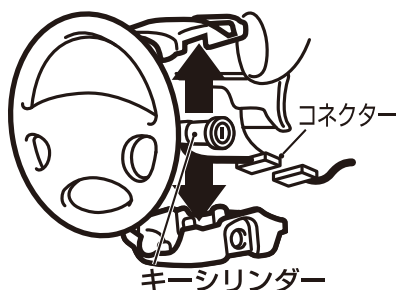
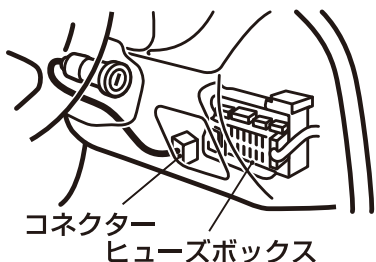
シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。

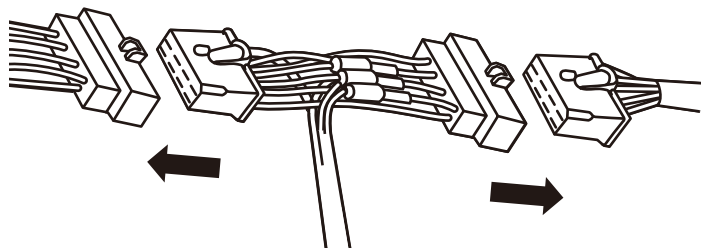
❸ 配線について

●アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、保護テープを貼って保護してください。

❹ エレクトロタップ使用方法について

1 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。

2 プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。

3 カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

4 絶縁テープを巻いて作業終了です。

1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。

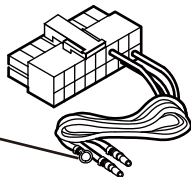
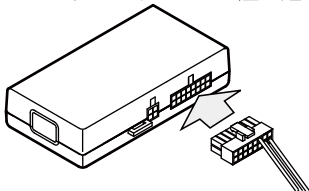
①キーシリンダー直付けタイプ

②キーシリンダーから10ｃｍ～20ｃｍの場所にあるタイプ

③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ

※コネクターの場所は車種によって異なります。
(ほとんどの車が上記1～3のいづれかにあてはまります。)
車種によってはコネクターが2ケ所存在する場合もあります。

2 車側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネスで接続してください。

⚠注意

コネクターを外して、キーを回しても、エンジンはかかりません。
もしかかった場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。

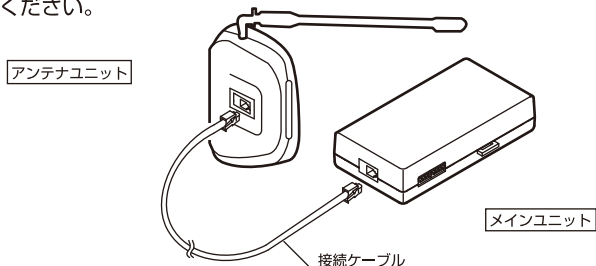
3 アースの取付

①アース端子（黒コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

⚠ **注意**
アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなかったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

②メインユニットにコネクターを差し込みます。

4 専用ハーネスの8Pコネクターとメインユニットの8Pコネクターを接続します。

下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

5 アンテナユニットとメインユニットの接続

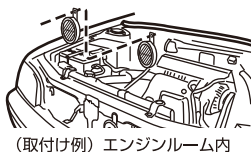
付属接続ケーブルをアンテナユニット底面とメインユニット側面の取付け口に、それぞれ接続してください。

6 スピーカーユニットの取付け・接続

スピーカーユニットはエンジンルーム／室内のどちらにも取付ける事ができます。

⚠ 注意 ・スピーカーユニットの取付、配線を行う際、車輌の機構部（ファン・ファンベルト・アクセルペダル・ブレーキペダル等）や高温となる場所（エンジン・ラジエター・エアコン吹き出し口付近等）への配線は避けてください。

スピーカーユニットの取付け（エンジンルームに取付けの場合）

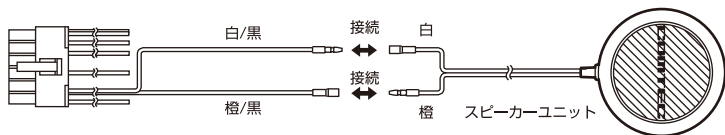
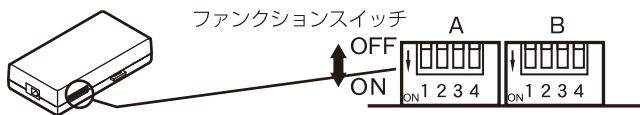
・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、雨等の水が直接当たらない箇所へ確実に取付けます。
・車輌のネジ等を利用して確実に取付けてください。
・エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキン等に、カッターナイフ等で切り穴を開けスピーカーユニットの配線を室内側へ配線してください。

（取付け例）エンジンルーム内

スピーカーユニットの取付け（室内に取付けの場合）

・スピーカーユニットの取付けステーを使用して、運転に支障の無い箇所へ確実に取付けます。
・車輌のネジ等を利用して確実に取付けてください。
※気密性、防音性の高い車輌の場合、室内に取付けると警告音が聞こえにくくなる場合があります。

（取付け例）運転席下部

スピーカーユニットの接続

・16Pコネクターのスピーカー配線(橙/黒)、(白/黒)とスピーカーユニットから出ている線(橙)、(白)にそれぞれ接続します。

メインユニットには下記の設定をするためのファンクションスイッチがついています。

A	スイッチの働き	内　容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	Pポジション線の電圧が0(v)の車はONにします。 12(v)又は車輌と配線しない場合はOFFにします。	通常	0V
2	――	――	――	――
3	エンジン始動 検出方法	エンジン始動検出の選択をします。 L端子配線した場合はONにします。	オート (自動検出)	L端子
4	――	――	――	――

B	スイッチの働き	内　容	OFF	ON
1	IG入力検出の選択	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種は ONにします。	IG1	IG2
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線をした場合、必ずONにします。	しない	する
3	――	――	――	――
4	OP3の警報選択	OP3を接続した場合	軽度	重度

⚠ 注意

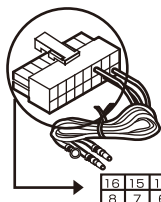
※1　一部の車輌でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキングPの位置以外でキーが抜けてしまう場合に配線します。オプション　Be-963　Pポジション線を車輌のPポジションインジケーターランプに配線する必要があります。

取付け(メインユニットの16Pコネクターの接続)

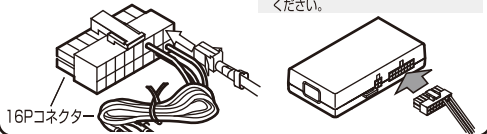
本製品には、車輌やオプションを配線するための16Pコネクターが付属しています。

取付け方

①付属16Pコネクターに配線する端子をしっかりと差し込みます。
※差し替えることができませんので注意してください。

①付属16Pコネクターをメインユニットにしっかりと差し込んでください。
※オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。

16Pコネクター

16Pコネクター接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ配線	9	ドアポジション配線
2	L端子配線	10	ドアロック配線
3	ボンネットセンサー(オプション)	11	アース
4	ボンネットセンサー(オプション)	12	オートライト配線(オプション)
5	カーテシ配線	13	スピーカー配線(橙/黒)
6	カーテシ配線(単線・複数線オプション)	14	スピーカー配線(白/黒)
7	———	15	ハザード配線(オプション)
8	ドアアンロック配線	16	Pポジション配線（オプション)

■フットブレーキ配線 (NO.1)
本機作動中、フットブレーキを踏んだ時の信号を検出します。(P18参照)

■L端子配線 (NO.2)
エンジン始動信号を検出します。(P19参照)

■ボンネットセンサー (NO.3・4)
当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を接続するための端子です。ボンネットが開いている状態ではリモコンでエンジンはかかりません。

■カーテシ配線 (NO.5)
カーテシ端子線を接続するための端子です。リモコンでエンジン作動中、ドアを開けるとエンジンを強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。(P66参照)

■カーテシ配線 (No.6)
当社別売カーテシ線(単線/SS-050・複数線/SS-051)を接続するための端子です。(P66参照)

■ドアアンロック線(NO.8)
ドアアンロック線を接続するための端子です。(P61～P63参照)

■ドアポジション線(NO.9)
ドアポジション線を接続するための端子です。(P61～P63参照)

■ドアロック線(NO.10)
ドアロック線を接続するための端子です。(P61～P63参照)

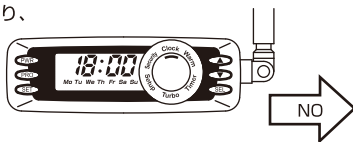
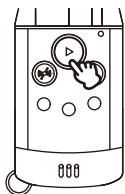
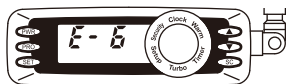
■オートライト(NO.12)
当社別売オートライト(Be-964)を接続するための端子です。スターターやターボタイマーを使用する時、車のオートライト機能「AUTO」にするとヘッドライトが点灯したままになる車種に必要です。

■スピーカー配線(No.13・No.14)
スピーカーユニットを接続するための端子です。(P11参照)

■ハザード配線(NO.15)
当社別売アンサーフラッシュリレー(Be-968)を車輌ハザード線に接続するための端子です。

■Pポジション線(NO.16)
ターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)以外でイグニッションキーが抜ける車輌にPポジション線(Be-963)を接続します。

⚠ 取付け・接続後必ず以下の作動確認を行ってください。
作動確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
下記の手順に従って作動確認を行ってください。対処方法は次のページを参照してください。

作動確認手順	対処方法
1 アンテナユニットとメインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。 ⚠ 但し、下記に該当する一部の車種はスイッチをONにしてください。 ①ダイハツムーヴの一部車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットが表示したしたままセルがまわらずエンジンが始動しなかったり、ターボタイマーを使用した場合、IGキーを抜いてもアンテナユニットが表示したまま　エンジンが停止しない場合があります。その場合はメインユニットのB-1のスイッチをONにしてください。(P12参照)	
2 IGキーをACC(ｱｸｾｻﾘｰ)の位置まで回してください。 Q:この時、ラジオ等アクセサリー電源のON／OFF操作ができますか？ 	P16 **A**
3 IGキーをONの位置までまわしてください。 Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、アンテナユニットが表示しますか？ NO	P16 **B**
4 IGキーをST(セル)の位置までまわしてください。 ⚠ **注意** ※この動作を行うことにより、セル始動時のIG2の認識を記憶します。 この動作を行わないと、リモコンでエンジン始動できません。 Q:この時、エンジンが始動しますか？ 	P16 **A**

作動確認手順	対処方法
5 IGキーをOFFの位置まで回して、抜いてください。 Q:この時、アンテナユニットの表示が消えて、エンジンが停止しますか？ YES 6へ / NO	P16 **C**
6 リモコンのアンテナを伸ばし、リモコンを開けた状態でスタートスイッチを押します。 Q:この時、アンテナユニットに暖気時間が表示され、エンジンが始動しますか？ (エンジン始動後、アンテナユニットの暖気時間がカウントダウンします。) YES 7へ / NO	P16 **D**
7 エンジン始動中にIGキーを入れ、ACCの位置へ回します。 Q:この時、アンテナユニットがE-6を表示して、エンジンは停止しますか？ YES / NO すべての作動は正常です。一旦IGキーを入れONまで回せばE-6表示が消灯し、IGキーを抜けば終了です。	P16 **A**

A

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P9参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P9～10参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)

B

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P9参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P9～10参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)
4.アースが不安定な場合。
→アースをしっかり固定してください。(P10参照)

C

1.ターボタイマーが作動していませんか？(P34～35参照)

D

1.エンジンはかかるがすぐ止まり、同じことを2回繰り返す。
→L端子配線をしてください。(P19参照)
2.受信するがセルがまわらない。アースが不安定ではないですか？
→アースをしっかり固定してください。(P10参照)
3.セルだけ回ってエンジンがかからない。同じことを1、2回繰り返す。
・セル時間が短い可能性があります。
→セル時間をもう少し長くしてください。(P36～P37参照)
・グロー時間が短い可能性があります。(ディーゼル車の場合)
→グロー時間をもう少し長くしてください。(P38参照)
4.エンジンがかかってすぐ止まる。アンテナユニットにE-3と表示されていませんか？
→シフトポジション検出エラーです。(P17参照)
フットブレーキ配線をしてください。(P18参照)
5.アンテナユニットが全く受信していないようですか？
→IDコードの登録をしてください。(P21参照)

取付け（エラー確認）

接続後の動作確認を行って下記を表示した場合のエラー内容と対策/解除方法を表します。

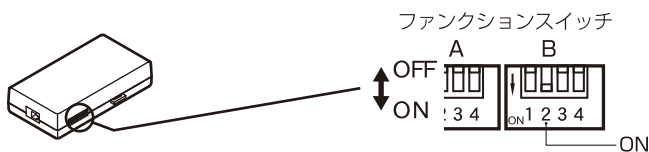
表　示	名　称	内容／解除方法
E　ー　1	フットブレーキ検出エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置までまわして下さい。
E　ー　2	ボンネット検出エラー	本機作動中にボンネットセンサーが働いた状態。 解除するには、IGキーをONの位置までまわして下さい。
E　ー　3	P.N　検出エラー	本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)又はN(ニュートラル)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置までまわして下さい。 また、リモコンでエンジンがかからずにこの表示になる場合はフットブレーキ配線(P18)が必要です。
E　ー　4	Pポジション検出エラー	Pポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置までまわして下さい。
E　ー　5	カーテシ検出エラー	カーテシ配線(P66)した場合、本機作動中にドアを開いてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、IGキーをONの位置までまわして下さい。
E　ー　6	IG　ON　検出エラー	本機作動中にIGキーをONまでまわさずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。 解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置までまわして下さい。
E　ー　7	リレー溶着エラー	メインユニットのリレーが溶着しています。 弊社サービス部　(0561）36-5654までご連絡下さい。
E　ー　8	バッテリー電圧検出エラー	バッテリー低下したことをお知らせします。 電圧が復活するまで点滅します。 バッテリーの整備点検をお勧めします。
E　ー　9	L端子配線違いエラー	L端子以外の線に間違って配線したときの状態。 解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置までまわして下さい。
E　ー　10	IG2未検出エラー	取付けを行った後、確実にキーでエンジン始動させてIG2の認識を行って下さい。

⚠注意

次の車種は、P.N検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチB-2をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

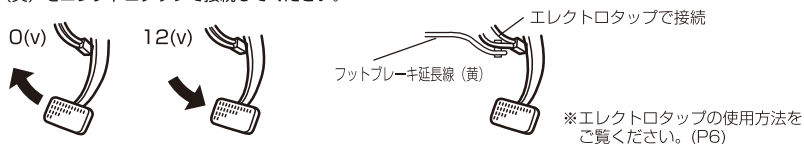
- 日産の全ての車種。※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、バードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- シフトレバーが P の位置で、リモコンスタート時にアンテナユニットに"E−3”と表示する場合。
- エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

1 メインユニットのファンクションスイッチB-2をONにしてください。

2 付属のフットブレーキ延長線（黄）をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0(v) 、踏んだ状態で 12(v) の線に付属のフットブレーキ線（黄）をエレクトロタップで接続してください。

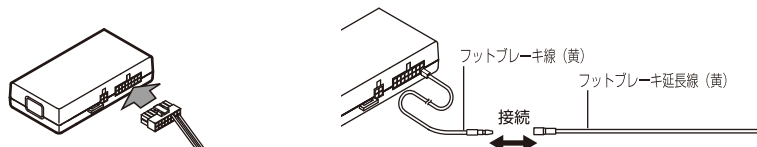
エレクトロタップで接続

フットブレーキ延長線（黄）

※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。(P6)

3 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。
16Pコネクターから出ているフットブレーキ線(黄)とフットブレーキ延長線を接続してください。

フットブレーキ線（黄）

フットブレーキ延長線（黄）

接続

4 リモコンでエンジン始動中に、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。
(その時、アンテナユニットにE−1と表示するか確認して下さい。表示すれば終了です。)

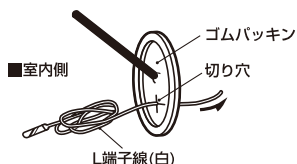
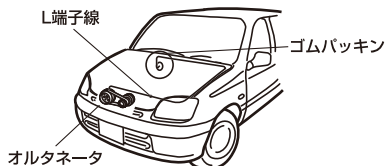
■簡略化されたエンジン始動検出（L端子配線省略可能）

本製品には、2種類（自動検出・L端子検出）のエンジン始動検出方法があります。
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。

※自動検出ができなくてL端子の配線を必要とする車種の症状
・エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
・セルが回らないにもかかわらず、本機作動中となっている。
・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。
又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

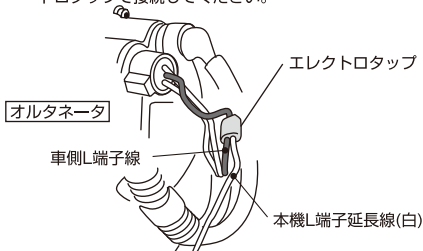
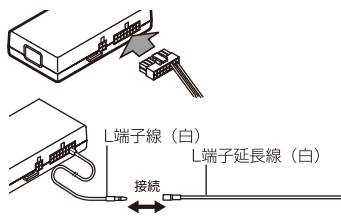
以下の手順でL端子配線を行ってください。

⚠注意
・シフトレバーをパーキング[P]にしてキーを抜いてから作業を行ってください。
・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー(Be-956L)をお求めください。

1 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け本機L端子線（白）を図の様に室内側からいれてください。

2 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、本機L端子延長線（白）を配線してください。

3 車のオルタネータにあるL端子を探して下さい。

車側L端子の見分け方

キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをかける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上

4 車のL端子線と本機L端子延長線（白）を付属のエレクトロタップで接続してください。

5 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。16Pコネクターから出ているL端子線(白)と付属のL端子延長線(白)を接続してください。

6 キーでエンジンを始動し、アンテナユニットのアンテナユニットに表示するのを確認後、キーをOFFにしてください。

エンジン始動　(時計表示の場合)　エンジン停止

リモコンの使用方法(ご使用になる前に、電源を入れる/切る)

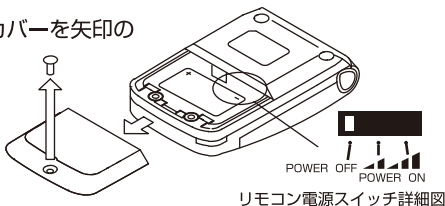
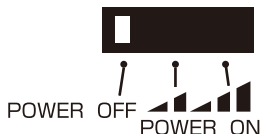
■リモコンをご使用の前に

■電源を入れる/切る

出荷時にはリモコン内蔵電池の消耗を抑えるために電源「OFF」にしてあります。
ご使用する前には必ずリモコンの電源を入れて下さい。
また、長い間リモコンを使用しない場合は必ず、電源を「OFF」にして下さい。

□電源の入れ方

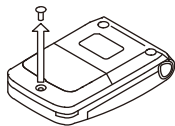
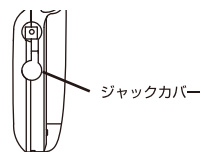
1. リモコン裏側にあるネジを外して電池カバーを矢印の方向に従って外します。

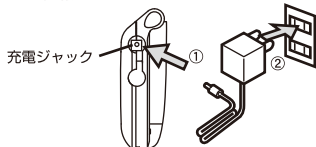
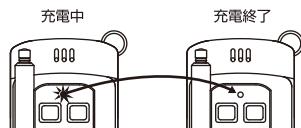
リモコン電源スイッチ詳細図

2. POWERスイッチ※1を　(音小)又は　(音大)にします。

※1　電源スイッチはリモコン音量スイッチと兼用になています。

□リモコンの充電方法について

必ず最初に充電してください。

本製品を長い間、リモコンをご使用せず、充電しないと電池自然放電します。
初めてリモコンをご使用する場合や電池残量表示が　表示になる前に必ずリモコンの電源をONにして付属のACアダプタで充電して下さい。

1 初めてリモコンをご使用する場合は電池カバーを外して電源スイッチを　又は　にします。

2 リモコン側面のジャックカバーを外します。ACアダプターを接続します。

3 ACアダプターをコンセントへ差し込みます。

※ACアダプターをコンセントにささない状態でリモコン充電ジャックに差し込むと内蔵電池の電流が逆流して充電・警報ランプが一瞬点灯しますが、これは正常です。

4 リモコンの充電・警報ランプが点灯します。

●満充電になるとリモコンの充電警報ランプが自動的に消灯します。

□満充電時間(めやす)は電池残量が無い状態から約100〜250分です。　電池の個体差や使用状況によって異なります。

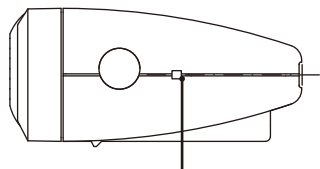
■IDコード登録の方法について

リモコンを紛失した場合、新たに購入したリモコンのIDコードをアンテナユニットに再登録することができます。

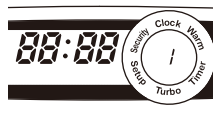
●再登録すると、前のIDコードは消去されます。

別売リモコン　オープン価格

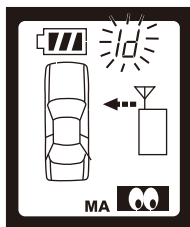
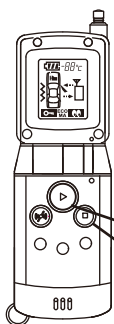
1 アンテナユニット側面のリセットスイッチを3秒以上長押しします。

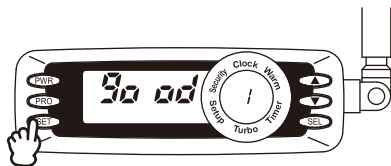
(防犯のため一旦　リモコンのIDコードを消去します。)

リセットスイッチ

2 液晶表示マークが全点灯した後、スタンバイ表示(下図)に変わります。

全点灯

スタンバイ表示

3 リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に押します。

"ID"マークが点灯しリモコンからIDコードを送信します。

4 リモコンから「受信OK音」※が鳴りアンテナユニットの表示が”good　1”に変わり SET スイッチ押して登録終了します。

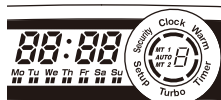
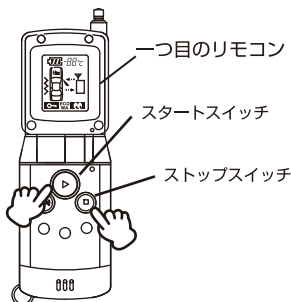
※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

初期表示画面は”CLOCK”モードから始まります。

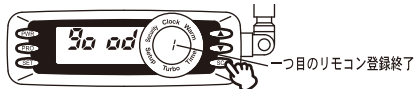
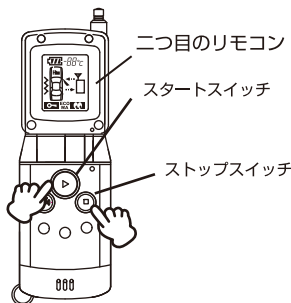
■リモコン追加方法について

本製品は付属のリモコン以外に予備のリモコンを2個持つ事ができます。(付属リモコンを含め3個まで)1台の車を皆で共有しているご家族の方々に最適です。　　別売リモコン　オープン価格

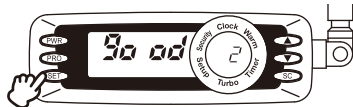
(例)2つのリモコンを登録する方法

1 アンテナユニット側面のリセットスイッチを3秒以上押します。(防犯の為リモコンのIDコードを消去します。)

2 液晶表示マークが全点灯した後、スタンバイ表示に変わります。

3 一つ目のリモコンスタートスイッチ（▶）とストップスイッチ（■）を同時に押します。

4 リモコンから「受信OK音」が鳴りアンテナユニットの表示が「good　1」に変わります。
15秒以内にSCスイッチを押します。
表示が「88：88　2」に変わります。(SCスイッチを押さなければ15秒後に自動的に終了します。)

※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

5 二つ目のリモコンスタートスイッチ（▶）とストップスイッチ（■）を同時に押します。

6 リモコンから「受信OK音」が鳴りアンテナユニットの表示が「good　2」に変わります。
SETスイッチを押すと終了です。(3秒以上放置しますと自動的に終了します。)
初期表示画面は「CLOCK」モードから始まります。

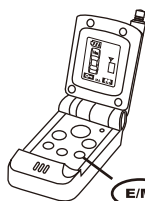
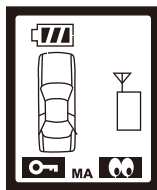
※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

三つ目のリモコンを登録する場合は「good 2」で15秒以内にSCスイッチを押して三つ目のリモコンをIDコード登録します。

リモコンの使用方法(エンジンを始動させる)

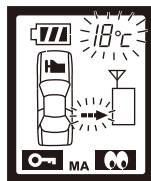
**本製品はリモコンでエンジンスタート及び車内温度を表示することができます。
また暖気時間を自分のお好みの時間に設定するMAモードと車内温度によって自動的に暖気時間を設定できるECOモード(P24参照)のどちらかを選択することができます。**

■エンジンを始動させる　　(工場出荷時はMAモードです。)

1 リモコンを開けた状態にしてアイドリング時間をマニュアル又はECOモード(下記参照)のどちらかを選択します。(リモコンのアンテナを伸ばします。)

(E/M スイッチを長押しする度にECO→MA→ECOに切り替わります。)

2 ①スタートスイッチ(▶)を押します。

②アンテナユニットが受信するとリモコンの受信マークが表示して
アンサーバック音※が鳴ります。(エンジン始動するまでの間、
エンジンマークが点滅します。)

③次にエンジンがかかるとアンサーバック音「ボレロの音」※が鳴り、
エンジンマークが点灯に変わります。
そのとき、車内温度も同時に表示します。
※リモコンアンサーバック音を有効に設定した場合
(スタートスイッチを押してから、約60秒以内)

●車輌側アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「NG音」が鳴り、表示もしません。その場合はもう一度リモコン操作を行って下さい。

注)　キャリアセンスについて

電波法に基づき本リモコン以外の製品から同周波数帯の電波がでている場合、リモコンから電波を発信できないように設計されています。そのため、下記の場合はリモコン電波を発信できませんのでご了承下さい。

1.　環境による影響(一部の地域でタクシー無線や自動車教習所、送電線付近など)
2.　アンテナユニットからの受信感度信号を受信した場合(P55参照)

□ECOモード暖気時間設定表

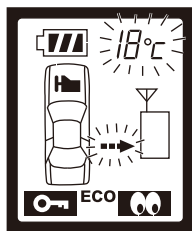
※使用環境により製品内部電子部品のバラツキにより必ずしも適正な温度を読み取ることができないため下記表はあくまで参考目安となります。

操作手順

①リモコン E/M スイッチを長押しして"ECO" モードに合わせてください。
（ E/M スイッチを長押しする度にECO→MA→ECOに切り替わります。）

②スタートスイッチ(▶)を押します。

③アンテナユニットが受信するとリモコンが受信マークを表示して受信OK音※が鳴ります。
(エンジン始動するまでの間、エンジンマークが点滅します。)

④次にエンジンがかかると「エンジン始動確認音」※が鳴り、エンジンマークが点灯に変わります。
そのとき、車内温度も同時に表示します。
※リモコンアンサーバック音を有効に設定した場合
(スタートスイッチを押してから、約60秒以内)

■アイドリング時間は、リモコンスタート時の車内温度によって自動的に設定されます。(下記表を参照してください。)

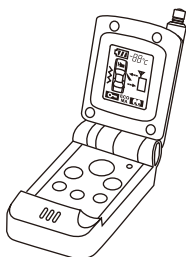
アイドリング時間設定表

車内温度(℃)	アイドリング時間(分)
60 ～	40
55 ～ 60	35
50 ～ 55	30
45 ～ 50	25
40 ～ 45	20
35 ～ 40	15
30 ～ 35	10
15 ～ 30	5
10 ～ 15	10
5 ～ 10	15
0 ～ 5	20
0 ～ −5	25
−5 ～ −10	30
−10 ～ −15	35
−15 ～	40

例)車内温度が−3℃の場合、 25分間アイドリングして、停止します。
※アイドリング時間はあくまでも目安値となります。使用環境や内部電子部品の特性によって多少の誤差があります。

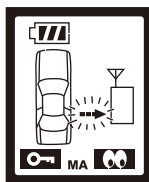
リモコンの使用方法(エンジンを停止させる)

リモコンでエンジン始動中又はターボタイマー作動中にリモコンでエンジン停止させることができます。

1 リモコンを開けた状態にします。(リモコンのアンテナを伸ばします。)

2 ①ストップスイッチ(■)を押します。

②アンテナユニットが受信するとリモコンの受信マークが約1秒間表示して「受信OK音」が鳴ります。

※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

③エンジンが止まります。

●車輌側アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「NG音」が鳴り、表示もしません。その場合はもう一度リモコン操作を行って下さい。

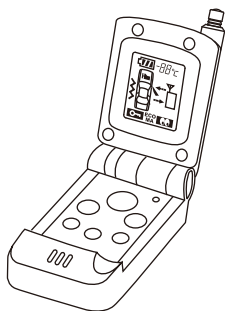
注)　キャリアセンスについて

電波法に基づき本リモコン以外の製品から同周波数帯の電波がでている場合、リモコンから電波を発信できないように設計されています。そのため、下記の場合はリモコン電波を発信できませんのでご了承下さい。

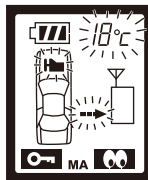
1.　環境による影響(一部の地域でタクシー無線や自動車教習所、送電線付近など)
2.　アンテナユニットからの受信感度信号を受信した場合(P55参照)

■エンジン始動状態の確認方法

車輌のエンジン始動状態や車内の温度をリモコンで確認できます。

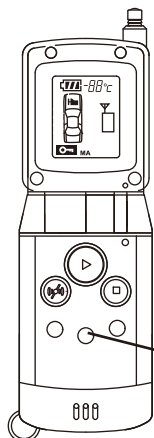
1 リモコンを開けた状態にします。(リモコンのアンテナを伸ばします。)

2 ①リモコンでエンジン始動中にスタートスイッチ(▶)を押します。

②車輌側アンテナユニットが受信すると、「エンジン始動確認音」が鳴ります。そのときの車内温度を表示します。

※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

●エンジンが停止している場合はもう一度、エンジン始動を行います。
●車輌側アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「NG音」が鳴り、表示しません。その場合はもう一度リモコン操作を行って下さい。

リモコンの使用方法 (アンサーバック音の切替え)

本製品はリモコンのアンサーバック音を、メロディー/ブザー音/無音の中からお好みの設定にすることができます。

□リモコンアンサーバック音の切替えのしかた

スイッチを押す度にメロディー → ブザー音 → 無音の順で設定されます。

以下の動作をしてアンサーバック音を設定します。

メロディーを選択する場合・・・・・・・メロディー音が鳴ったら止めます。

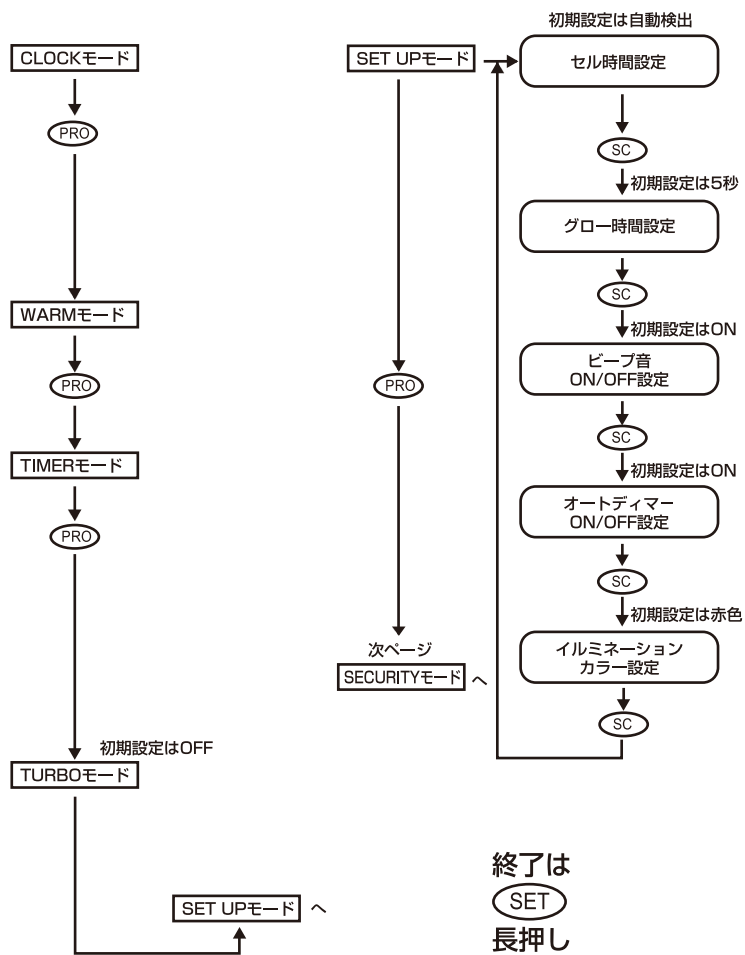
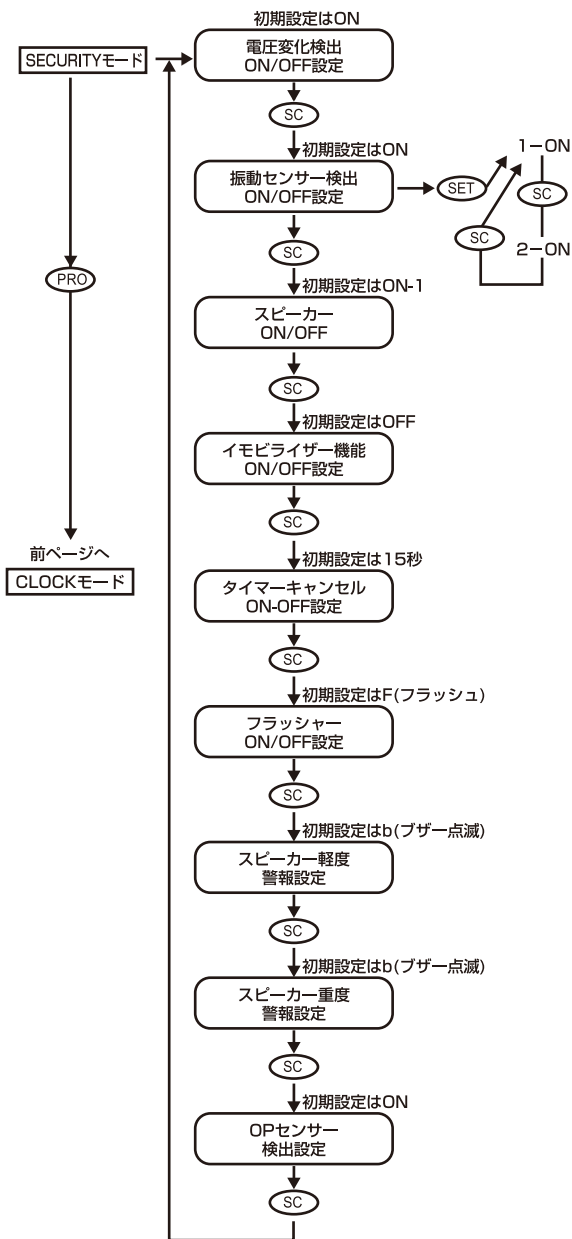
ブザーを選択する場合・・・・・・・・・ブザー音(ピーッ)が鳴ったら止めます。

無音を選択する場合・・・・・・・・・・ブザー音(ピポッ)と鳴ったら止めます。

リモコンアンサーバック音の鳴り方

	リモコンとアンテナユニットの通信		リモコンでエンジン始動したとき
	受信OKのとき	受信NGのとき	
メロディー音	ハッピーなメロディー	ショックなメロディー	ボレロのメロディー
ブザー音	ピロピロピロ・・・・	ブーッ	ピーピー
無音	液晶表示のみ	液晶表示のみ	液晶表示のみ

アンテナユニット操作方法(操作フローチャート)

初期設定はON
SECURITYモード
電圧変化検出
ON/OFF設定
SC
初期設定はON
振動センサー検出
ON/OFF設定
SET
1－ON
SC
SC
2－ON
SC
初期設定はON-1
スピーカー
ON/OFF
PRO
SC
初期設定はOFF
イモビライザー機能
ON/OFF設定
SC
前ページへ
CLOCKモード
初期設定は15秒
タイマーキャンセル
ON-OFF設定
SC
初期設定はF(フラッシュ)
フラッシャー
ON/OFF設定
SC
初期設定はb(ブザー点滅)
スピーカー軽度
警報設定
SC
初期設定はb(ブザー点滅)
スピーカー重度
警報設定
SC
初期設定はON
OPセンサー
検出設定
SC
終了は
SET
長押し

■時計表示設定(CLOCKモード)について

アンテナユニットで現在の曜日と時刻(24時間制)を表示できます。

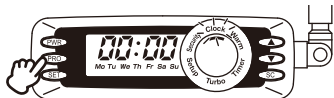
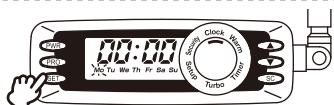
□設定方法

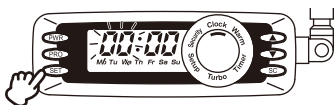
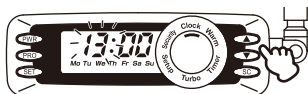
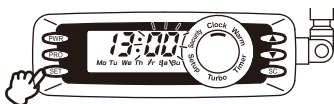
現在の時刻を設定します。

(例)　火曜日の午後1:30(13:30)にセットする場合

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してCLOCKモードに合わせます。

④ SET スイッチを押して"曜日”マークを点滅させせます。
最初は"Mo”から始まります。

⑤ ▲▼ スイッチを押して"Tu”を選択します。

⑥ SET スイッチを押して「時間」の桁を点滅させせます。

⑦ ▲▼ スイッチを押して"13”を選択します。

⑧ SET スイッチを押して「分」のを点滅させせます。

⑨ ▲▼ スイッチを押して"30”を選択します。

設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。
「ピー」と鳴り、設定を終了します。そのとき、設定した現在の曜日が点滅してそれ以外の曜日が点灯していれば、正常です。

注1)　約15秒間、操作しないと自動的に終了します。

注2)　使用環境や製品のバラツキにより最大1ヶ月に約60秒の誤差が生じることがあります。

アンテナユニットの設定方法(暖気時間設定について)

■暖気時間設定(WARMモード)について

リモコンでエンジン始動時の暖気時間を10分〜59分59秒までお好みの設定ができます。

□設定方法

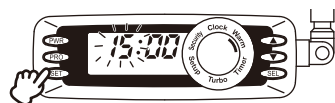
お好みの暖気時間に設定します。

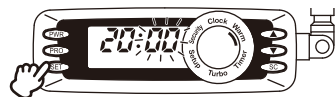
(例)　20分30秒にセットする場合

①イグニッションキーをONの位置にします。
　(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してWARMモードに合わせます。

④ SET スイッチを押して「分」の桁を点滅させます。
　(アイドリング時間の初期設定は15分です。)

⑤ ▲ ▼ スイッチを押して"20”を選択します。

⑥ SET スイッチを押して「秒」の桁を点滅させます。

⑦ ▲ ▼ スイッチを押して"30”を選択します。

設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注1)　約15秒間、操作しないと自動的に終了します。

アンテナユニットの設定方法(タイマースタート設定について)

■タイマースタート設定(TIMERモード)について

各曜日ごとに1日2回まで設定した時刻にタイマースタートすることができます。

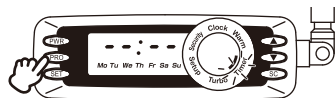
□**設定方法**(必ず時計表示設定を行って下さい。)

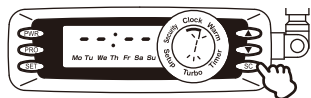
(例)　水曜日の7:30(タイマー1)と18:00(タイマー2)にタイマースタートする場合

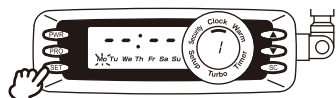
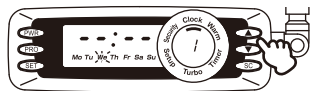
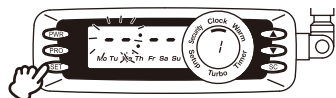
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してTIMERモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。PRO スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押して"1”(タイマー1)を設定します。

注　最初は1から始まります。SC スイッチを押す度にタイマー表示マークが順に変わります。

⑤ SET スイッチを押して"曜日”マークを点滅させます。

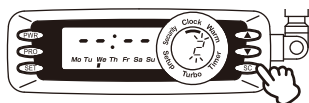
注　最初は"Mo”から始まります。SET スイッチを押す度に曜日表示マークが順に変わります。

⑥ ▲▼ スイッチを押して"Wed”を選択します。

⑦ SET スイッチを押して「時間」の桁を点滅させます。

⑧ ▲▼ スイッチを押して"07”に合わせます。

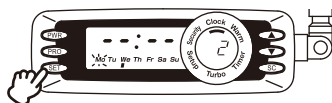
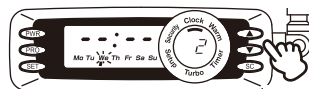
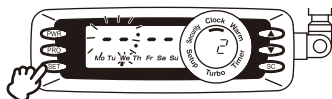
このとき、Weマークの左下にタイマー1予約確認マークが点滅します。

⑨ SET スイッチを押して「分」の桁を点滅させます。

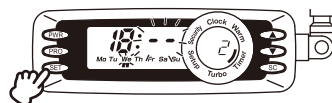
⑩ ▲▼ スイッチを押して"30”を選択します。

⑪次にタイマー2の設定をします。

SC スイッチを押して"2”(タイマー2)を設定します。

⑫ SET スイッチを押して”曜日”マークを点滅させせます。

(初期は"Mo"から始まります。)

⑬ ▲▼ スイッチを押して"Wed”を選択します。

⑭ SET スイッチを押して「時間」の桁を点滅させせます。

⑮ ▲▼ スイッチを押して"18"に合わせます。

このとき、Weマークの左下にタイマー2予約確認マークが点灯します。

⑯ SET スイッチを押して「分」の桁を点滅させせます。

⑰ ▲▼ スイッチを押して"00"に合わせます。

⑱設定を終了するにはSETスイッチを長押し(約2秒)するか、約15秒間何もしなければ電子音がピーと鳴り、終了します。

(注)　他の曜日を設定させたい場合は設定を終了せずに、⑤の項目から設定することができます。

■タイマー予約キャンセル機能について

タイマー予約を全てキャンセルするタイマー予約キャンセル機能を採用しています。

SC スイッチを長押し(2秒以上)して下さい。タイマー予約確認マークが全て消灯すれば、タイマー予約キャンセルが正常にできました。

注1　タイマー予約キャンセルはTIMERモード以外は操作できません。

2　タイマースタート機能を復帰させたい場合はTIMERモードに合わせてもう一度、SC スイッチを長押しして下さい。

■ターボタイマーについて

本製品はターボ車にかかせない、走行後もアフターアイドリングを行いターボチャージャーを保護するターボタイマー機能を採用しています。

ターボタイマー機能は2通りの時間を任意設定可能なマニュアルモードとターボタイマー時間を自動的に算出するオートモードの3通りのどれかを選択することができます。

注) ターボタイマーを使用しない場合はターボタイマー表示マークを消灯します。

□オートモード(AUTO)の設定方法

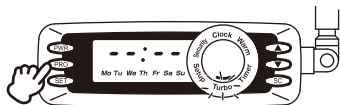
本製品はターボタイマーの時間を自動的に算出し時間設定するオートターボタイマー機能を採用しています。

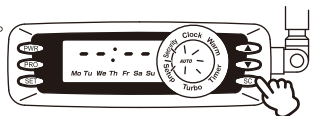
走行時間	アフターアイドリング時間
0～15分間	約30秒
15～30分間	約1分
30～1時間	約2分
1～2時間	約3分
2時間以上	約5分

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押します。

注 最初にCLOCKモードが点滅しますので、PRO スイッチを押してTURBOモードに合わせます。

④ SC スイッチを押して"AUTO"(オートターボ)を点灯させます。

SC スイッチを押す度に AUTO→MT1→MT2→無表示の順に表示が変わりAUTOに合わせます。

⑤設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定終了します。

注) 約15秒間、操作をしなければ自動的に終了します。

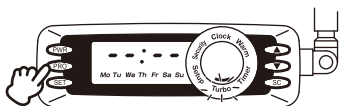
□マニュアルモード(MT1/MT2)の設定方法

本製品はマニュアルターボタイマーの時間を2通り(MT1/MT2)設定できます。
(例)　MT1(マニュアルターボタイマー1)を1分に設定する場合。

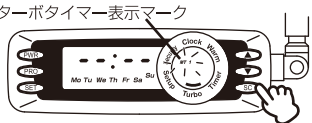
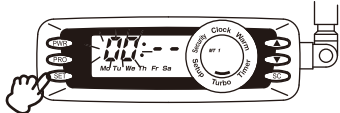
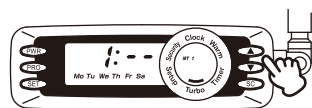
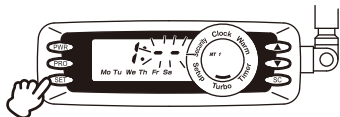
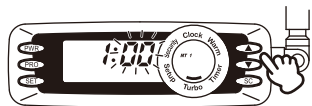
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押します。

注　最初にCLOCKモードが点滅しますので、　スイッチを押してTURBOモードに合わせます。

④ SC スイッチを押してターボタイマー表示マークの"MT1"(マニュアルターボタイマー1)を点灯させます。

本製品はマニュアルターボタイマー時間を2通り設定できます。
SELECTスイッチを押す度にAUTO→MT1→MT2→無表示の順に表示が変わります。

ターボタイマー表示マーク

⑤ SET スイッチを押して「分」の桁を点滅させます。

⑥ ▲▼ スイッチを押して"1"を選択します。

⑦ SET スイッチを押して「秒」の桁を点滅させます。

⑧ ▲▼ スイッチを押して"00"に合わせます。

⑨設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り、設定終了します。

注）約15秒間操作をしないと自動的に終了します。"MT2"を設定する場合は同じ要領で設定せきます。

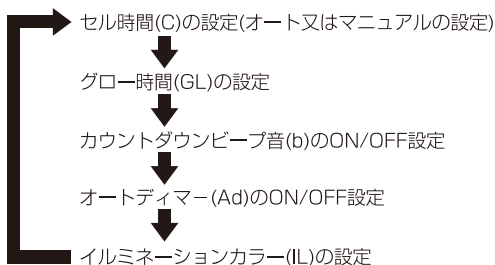
ターボタイマー作動を停止するには

ターボタイマー作動中、下記の動作をすると、エンジンを緊急停止できます。

1.　操作部の PWR スイッチOFFにする
2.　リモコンのストップスイッチを押す。
3.　フットブレーキを踏む(フットブレーキ配線時のみ)

■SETUPモード概要

SETUPモードの設定で下記のような内容を設定することができます。

イグニッションキーがONの状態で
SETUPモードの設定のとき、
SC スイッチを押す度に右記の
ような設定に切り替わります。

■セル時間(C)の設定

リモコンでエンジン始動時のセル時間(オート/マニュアル0.5秒～2.5秒　0.1秒間隔)を設定できます。
オート設定にするとリモコンでエンジンをかけた場合、エンジンがかかったときの電圧変化又は
L端子配線している場合はL端子出力を検出して自動的にセルを止めます。
マニュアル設定にすると、設定した時間までセルを回します。(オート又はマニュアルどちらか設定)

注　工場出荷時は"1"(オート)に設定しています。

□オート設定時セル時間延長の方法

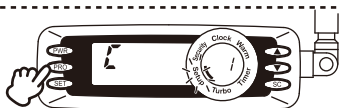
セル時間をオートに設定した場合、一部車種でエンジン始動前にセルを止めてしまう事があります。
そのような場合は最大1秒(0.1秒単位)までセル時間を延長する事が可能です。

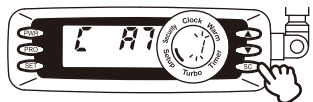
(例)　セル時間を0.5秒延長する場合

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

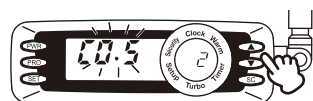
③ PRO スイッチを押してSETUPモードに合わせます。

注　最初はセル時間(C)の設定から始まります。

④ SC スイッチを押して"1"(オート)を点滅させせます。

注　工場出荷時は"1"(オート)に設定しています。

⑤ SET スイッチを押して"0.0"(0秒)を点滅させせます。

注　初期設定は0秒になっています。

⑥
スイッチを押して0.5秒に設定します。

(0秒～1.0秒の間で0.1秒単位で設定できます。)

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。
注)　約15秒間、操作しなければ自動的に終了します。

□マニュアルでの時間設定方法

(例)　セル時間を1.5秒に設定する場合

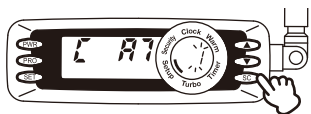
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

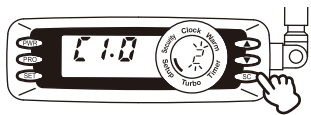
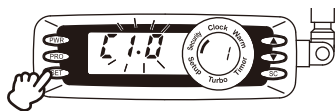
②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

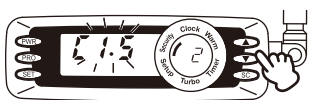
③ PRO スイッチを押してSETUPモードに合わせます。

注　セル時間(C)の設定から始まります。

④ SET スイッチを押してセレクトNo."1"を点滅させせます。

注　工場出荷時は"1"(オート)に設定しています。

⑤ SC スイッチを押して"2"(マニュアル)を点滅させせます。

注　初期設定は1秒になっています。

⑥ SET スイッチを押して"1.0"を点滅させせます。

⑦ ▲ ▼ スイッチを押して1.5秒に設定します。

(0.5秒～2.5秒の間で0.1秒単位で設定できます。)

⑧設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注)　約15秒間、操作しなければ自動的に終了します。

■グロー時間(GL)の設定

グロー時間(5秒～10秒間で1秒単位)を設定できます。

工場出荷時はグロー時間は5秒に設定しています。

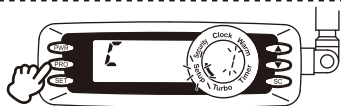
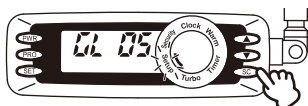
□グロー時間の設定方法

(例)　グロー時間を8秒に設定する場合

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

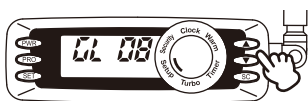
②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSETUPモードに合わせます。

注　最初はC(セル時間)の設定から始まります。

④ SC スイッチを押して"グロー時間(GL)を選択します。

⑤ SET スイッチを押してグロー時間(5秒)を点滅させます。

注　工場出荷時は5秒に設定しています。

⑥ ▲ ▼ スイッチを押して8秒に設定します。

(1秒～10秒の間で1秒単位で設定できます。)

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注1)　約15秒間、操作しないと自動的に終了します。

■ビープ音(b)の設定

リモコンでのエンジン始動やターボタイマー作動中のカウントダウンのビープ音をON/OFF設定できます。

工場出荷時はビープ音をONに設定しています。

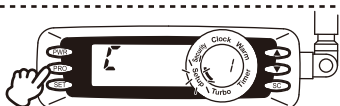
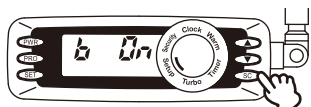
□ビープ音の設定方法

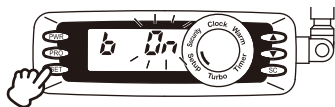
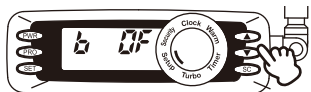
(例)　ビープ音をOFFにする場合

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSETUPモードに合わせます。

注　最初はC(セル時間)の設定から始まります。

④ SC スイッチを押してビープ音(b)を選択します。

⑤ SET スイッチを押して"On"を点滅させます。

注　工場出荷時はビープ音をONにしています。

⑥ ▲ ▼ スイッチを押してOFFに設定します。

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注1)　約15秒間、操作しないと自動的に終了します。

■オートディマー(Ad)の設定

本製品はアンテナユニットのバックライト照明の明るさを時刻によって自動で調整するオートディマー機能を採用しています。

工場出荷時はオートディマー機能はONに設定しています。

バックライトの明るさ	時刻
明るい	午前　6時〜午後5時59分
半減	午後　6時〜午前5時59分

□オートディマー(Ad)の設定方法

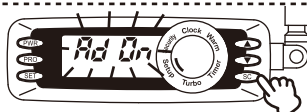
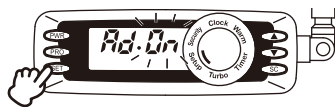
(例)　オートディマー機能をOFFにする場合

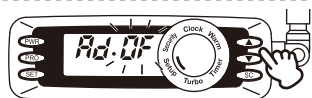
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSETUPモードに合わせます。

注　最初はC(セル時間)の設定から始まります。

④ SC スイッチを押して"Ad On"(オートディマー設定)を点滅させます。

⑤ SET スイッチを押して"On"(オートディマー設定)を点滅させます。

⑥ ▲ ▼ スイッチを押してOFFにします。

(UP/DOWNスイッチを押す度にOn→OF→Onの繰り返し)

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注1)　約15秒間、操作しないと自動的に終了します。

■イルミネーション機能(IL)の設定

本製品はアンテナユニットのバックライト照明の色を赤、緑、橙の3種類から選択できます。
車輌に合わせてお好みの色に設定します。

工場出荷時は赤色に設定しています。

□イルミネーションカラー(IL)の設定方法

(例)　アンテナバックライト照明の色を橙にす場合

---

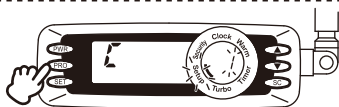
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

---

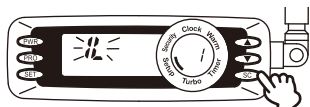
②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

---

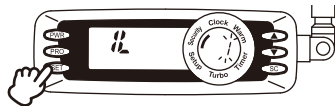
③ PRO スイッチを押してSETUPモードに合わせます。

---

④ SC スイッチを押して"IL”(イルミネーション設定)を点滅させせます。

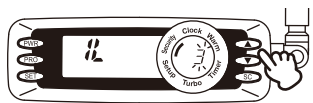
注　最初はC(セル時間)の設定から始まります。

---

⑤ SET スイッチを押して"1”(赤色)を選択します。

注　工場出荷時は"1"(赤色)に設定しています。

---

⑥ ▲▼ スイッチを押して"3"(橙色)に点滅させせます。

▲▼ スイッチを押す度に"1"(赤色)→"2"(緑色)→"3"(橙色)→"1"(赤色)の繰り返し

---

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注1)　約15秒間、操作しないと自動的に終了します。

■セキュリティー機能概要

本製品には車両に何か異変があるとリモコンにお知らせするセキュリティー機能を搭載しています。また、さまざまな弊社オプションを接続することによってシステムアップさせ防犯性を高めることが可能です。

SECURITYモードでは下記のような内容を設定することができます。

イグニッションキーがONの状態でSECURITYモード設定のとき、(SC)スイッチを押す度に右記のような設定に切り替わります。

セレクトNo.

1. 電圧センサー検出ON/OFFの設定
2. OP振動センサー検出ON/OFFの設定
3. 警報音/確認音のON/OFF設定
4. イモビライザー機能(OP)のON/OFF設定
5. タイマーキャンセル機能の設定
6. フラッシャー光り方の設定
7. スピーカー軽度警報の設定
8. スピーカー重度警報の設定
9. OP3のON/OFF設定

（9の次は1に戻ります）

■電圧センサー検出の設定

車輌のドアが開いたときのルームランプの電圧変化を検出して、リモコンへお知らせします。

□電圧センサー検出ON/OFFの設定方法

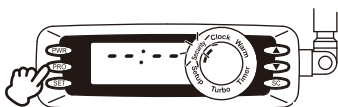
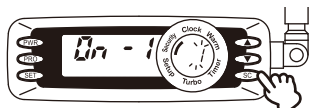
注　一部の車輌でドアが開いたとときのルームランプの電圧変化が検出できないことがあります。
　その場合、付属のカーテシ線(青色)を車輌のカーテシストップ線に接続して下さい。
　(カーテシ線の配線のしかたはP66参照)

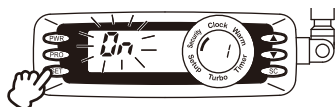
(例)　電圧センサーをOFFにする場合

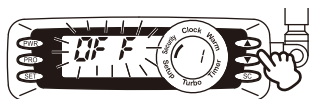
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。PRO スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押して"1"を表示させます。

⑤ SET スイッチを押して"On"を点滅させせます。

注　工場出荷時は"On"です。

⑥ ▼ ▲ スイッチを押して"OF"を点滅させせます。

SET スイッチを押す度にOn→OFF→On の順に変わります。

⑦設定を終了するにはSET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注)　約15秒間、操作しなければ自動的に終了します。

■電圧センサーの調整

本製品を取付けて電圧センサーによる警報が出力されない(ドアオープン時に警報されない)場合にメインユニットの電圧センサーボリュームで感度調整することにより、電圧変化を取り易くできます。

⚠ 注意

但し、電圧センサー感度を高く(Hi)すると、わずかな電圧変化でも敏感に反応するようになり誤作動で警報することがあります。そのようなときはカーテシ線を配線する必要があります。

・セキュリティー作動中電圧センサーをOFFに設定しても、
　カーテシ配線を行ったドアを開けることで、警報が鳴ります。

電圧センサー感度ボリューム

■振動センサー(CN1、2)の設定について

本製品はメインユニットのオプション取付けポートに下記のセンサーを取付けすることができます。

メインユニットオプション取付けポート　　CN1 CN2 CN3　※CNとはコネクターの略です。

CN1　振動センサー(付属)
CN2　拡張振動センサー(SS-053)　（OP拡張振動センサーSS-053接続用）
CN3　将来的に発売するオプションセンサー用(発売日未定)

メインユニットCN1・2ポート

□振動センサー(CN1、2)のON/OFF設定方法

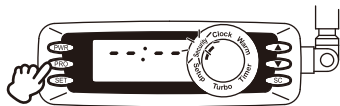
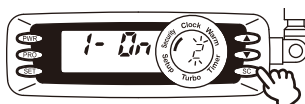
本製品は振動センサーを2個まで取付けることができます。
振動センサーはそれぞれON/OFF設定をすることができますのでご使用環境によって振動センサーをOFFに設定したい場合は以下のような手順で操作を行って下さい。
(工場出荷時は全てONに設定されています。)

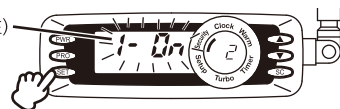
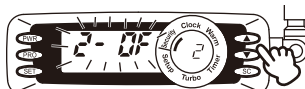
(例)CN2をOFFにする場合

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。PROGRAMスイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押して"2"を表示させます。

⑤ SET スイッチを押して"1-On"を点滅表示させます。

注)　"1"とは振動センサーCN1の意味です。
"2"とはオプション振動センサーCN2の意味です。

⑥ SC スイッチを押して"2-On"を点滅表示させます。

注)

⑦ ▲ ▼ スイッチを押して"2-OF"を表示させます。

▲ ▼ スイッチを押す度に"2-On"→"2-OF"の繰り返し

⑧設定終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。
注)約15秒間、操作しなければ自動的に終了します。

■メインユニットCN3ポートの設定について

オプションセンサーのON/OFF設定について

次期発売予定のオプションセンサーをメインユニットのCN3ポートに接続することができます。次期オプションセンサーを接続した場合、使用環境によってオプションセンサーをOFFにするには以下のような手順を行って下さい。　(工場出荷時はONに設定されています。)

(例)　CN3接続のオプションセンサーをOFFにする場合

---

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

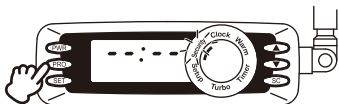
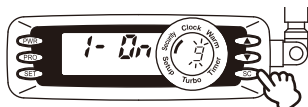
---

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

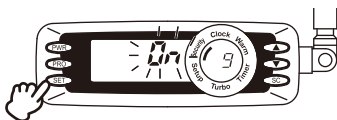
---

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

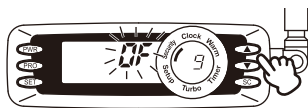
注　最初はCLOCKから始まります。 PRO スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

---

④ SC スイッチを押して"9"を表示させます。

---

⑤ SET スイッチを押して"On"を点滅表示させます。

---

⑥ スイッチを押して"OF"を表示させます。

スイッチを押す度に2-On→2-OFの繰り返し

---

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)します。「ピー」と鳴り設定を終了します。

注)　約15秒間、操作しなければ自動的に終了します。

■スタート・ストップ確認音と、警報音の設定

車輛への電圧センサーや振動センサーの異常検出をしたとき、警報音を鳴らし、不審者に対して威嚇することができます。また、リモコンでセキュリティースタート、ストップを行った時に、確認音を鳴らすこともできます。

スピーカーユニットの警報音の選択について

OFF	警報	スタート/ストップ確認音
OFF	鳴らさない	鳴らさない
On-1	鳴らす	鳴らす
On-2	鳴らす	鳴らさない

注)　工場出荷時はOn-1に設定しています。

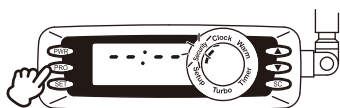
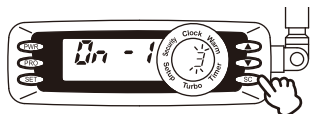
□スピーカーユニットの設定方法

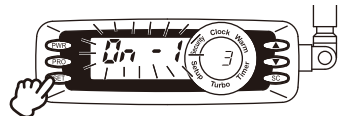
(例)　On-2　電圧変化、振動検出時のみ警報スピーカーを鳴らす設定にする場合

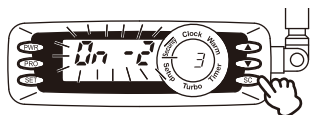
①イグニッションキーをONの位置にします。
　(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

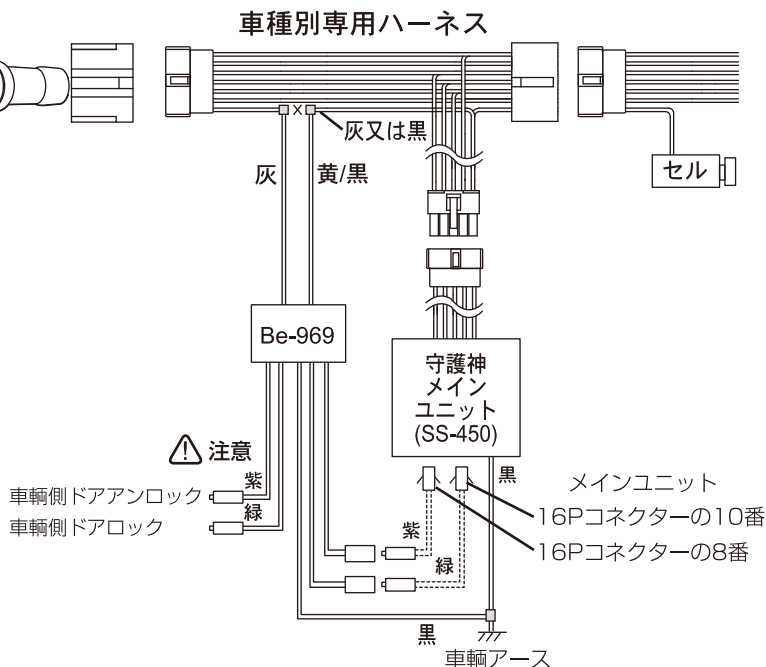
注　最初はCLOCKから始まります。PRO スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押して"3"を表示させます。

⑤ SET スイッチを押して"On－1"マークを点滅させます。

注　最初は"OFF"から始まります。SETスイッチを押す度にOFF→On－1→On－2の順に変わります。

⑥ スイッチを押して"On－2"マークを点滅させます。

注　最初は"OFF"から始まります。SETスイッチを押す度にOFF→On－１→On－2の順に変わります。

⑦設定を終了するには SET スイッチを長押し(約2秒)するか、約15秒間何もしなければ電子音がピーと鳴り、終了します。

■OPセルカットイモビライザーユニットの接続にあたって

本製品は、リモコンでのドアロック・ドアアンロックと連動して車輌のセル始動を制御するオプションセルカットイモビライザーユニット(Be-969)を接続することができます。

本製品とセルカットイモビライザーユニット(Be-969)の接続のしかた。

注意

ワイヤレスドアロック配線をしない場合は、ギボシ先端を絶縁テープで巻く。

■暗証番号の登録

本製品はイモビライザー機能が作動中※1、リモコンを紛失してもアンテナユニットに暗証番号を登録することでイモビライザー機能を解除することができます。

※1　イモビライザー機能が作動させるにはオプション　イモビライザーユニット(Be-969)が必要です。

□イモビライザー機能の暗証番号登録方法

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

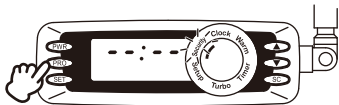
---

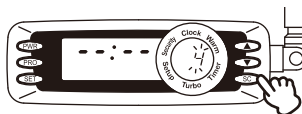
②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

---

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。 PRO スイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

---

④ SC スイッチを押してセレクトNo.4を点滅表示させます。

---

⑤任意の暗証番号(例　1234)を入力します。

SET スイッチを押して "0”000 の一番左の桁を点滅させます。

注　暗証番号を0000に設定することはできません。

---

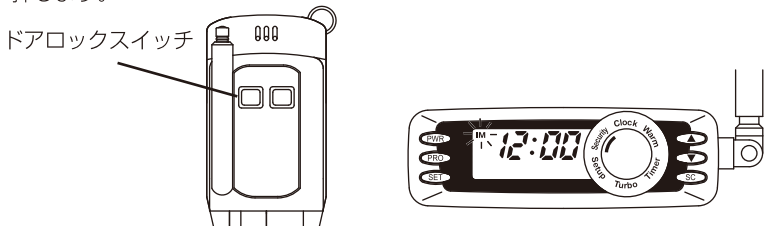
⑥ ▲▼ スイッチで最初の桁を"1”と選択し、 SET スイッチを押して桁を移動させ全ての桁を入力します。

---

⑦4桁全て入力し終えたら SET スイッチを長押しします。

設定を終了するには一旦、キーをOFFにします。

■イモビライザー機能のスタート

①イモビライザー機能をスタートさせるにはリモコンを閉じた状態でドアロックスイッチを押します。

②アンテナユニットが受信すると、表示左側に”IM”が点滅して、イモビライザー機能が働きます。（セキュリティーON表示のみ)

注1.イモビライザー機能作動中は常に”IM”表示が点滅します。
注2.”IM”表示が点滅しない場合は暗証番号を登録する必要があります。（P48参照）
注3.ドアロック配線している場合は車輌ドアロックを行います。

■イモビライザー機能のストップ

①リモコンでイモビライザー機能をストップさせるにはリモコンを閉じた状態でドアアンロックスイッチを押します。

②アンテナユニットが受信すると、表示左側に"IM”が消灯して、イモビライザー機能が停止します。

リモコンを無くしてしまった場合には

イモビライザー機能を作動させたまま、リモコンを無くしてしまった場合事前に登録した暗証番号をインプットすることでイモビライザー機能を停止することができます。(下記参照)

□イモビライザー機能の解除方法

P48の暗証番号を登録後、①～⑤までの動作を行ってから最初に登録した暗証番号を入力し、最後に (SET) スイッチを長押しすると、解除できます。

注　ドアロック配線をしている場合、イモビライザー機能停止と連動してドアアンロック作動します。

暗証番号を変えたい場合や番号を忘れてしまった場合はメインユニットの16Pコネクターを外すことにより、リセットされます。

注　アンテナユニットのコネクターを外しても暗証番号はリセットされません。

■タイマーキャンセル機能について

セキュリティーを作動させたとき、ドアを閉じてからゆっくりルームランプが消灯する車輌やエンジン停止後、自動的にクーリングファンが回転する一部の車輌で本製品が電圧変化を感知して警報することがあります。
その場合、タイマーキャンセル機能(最大59分59秒まで)を利用してセキュリティー作動開始する時間を遅くすることができます。(工場出荷時は15秒です)

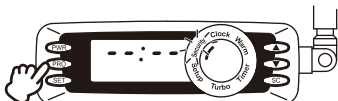
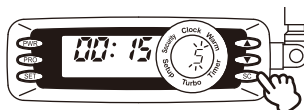
□タイマーキャンセル機能の設定方法

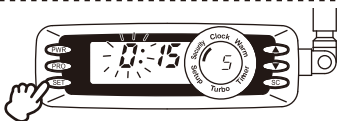
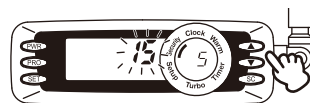
(例)　タイマーキャンセル時間を30秒に設定します。(工場出荷時は15秒です)

①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

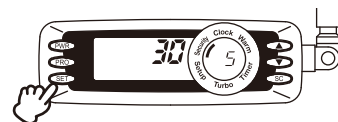
②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。PROGRAMスイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押してセレクトNo.5を点滅表示させます。

⑤ SET スイッチを押して分の桁"0”を点滅させます。

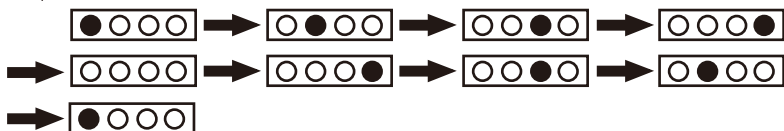
注　工場出荷時は15秒です。

⑥ SET スイッチで秒の桁"15”を点滅させます。

⑦ ▲ ▼ スイッチで秒の桁"30”に設定します。

⑧入力し終えたら SET スイッチを長押しします。

15秒間、何も押さないと自動的に終了。

■ウォーニングランプの光り方について

アンテナユニット後方の4個ランプの光り方を3パターンの中から選択することができます。

FL（フラッシュ点滅）　工場出荷時

SG（スイング）

CO（コンビネーション・・・フラッシュとスイングの交互点滅）

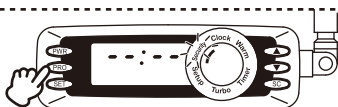
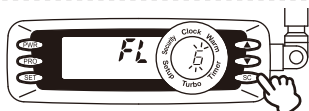
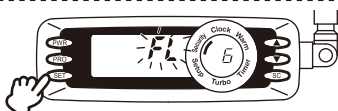
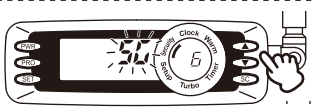
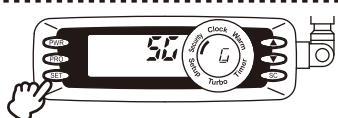
□ウォーニングランの光り方設定方法

（例）光り方をS(スイング)に設定します。

①イグニッションキーをONの位置にします。
（バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。）

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。PROGRAMスイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押してセレクトNo.6を点滅表示させます。

⑤ SET スイッチを押して"FL”を点滅させます。

⑥ ▼▲ スイッチで" SG”に設定します。

⑦入力し終えたら SET スイッチを長押しします。

15秒間、何も押さないと自動的に終了

●ウォーニングランプ点滅停止方法

セキュリティー機能が働いていてもウォーニングランプを消灯させることができます。
SECURITYモードで SC を長押しします。アンテナユニットから「ピー」と鳴れば設定終了です。
もう一度ウォーニングランプを点滅させるには SC を長押しします。アンテナユニットから「ピピッ」と鳴れば設定終了です。

■警報音の設定について

車輌に異常があった場合、軽度、重度それぞれお好みの警報音(電子音/日本語/英語)を鳴らすことができます。

記号	警報音	軽度警報(注1) (微振動検出時)　セレクトNo.7	重度警報 (衝撃・ドアオープン検出時)　セレクトNo.8
b	電子音	電子音にて1秒警告	電子音(間欠)にて30秒警告
J	日本語警報	注意して下さい。セキュリティーシステムが作動しています。	警告します。直ちに車両から離れて下さい。その後、20秒間、電子音にて警告
E	英語警報	Attention.This car is equipped an alarm system.	Get way soon. A warning start now.

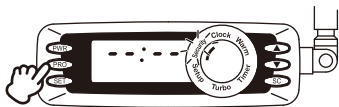
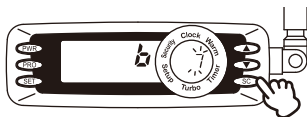
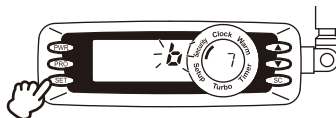
(注1) 軽度警報はオプション拡張振動センサー(SS-053)をメインユニットのOP1、2に接続しないと警報を行いません。

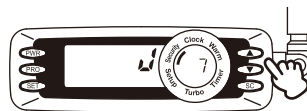
(例) 軽度警報を日本語に設定する場合 (重度警報の設定のしかたは、次ページに記載しています。)

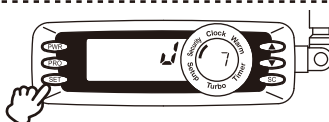
①イグニッションキーをONの位置にします。

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注　最初はCLOCKから始まります。PROGRAMスイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押してセレクトNo."7"を点滅表示させます。

⑤ SET スイッチを押して"b”を点滅させます。

⑥ ▲▼ スイッチで"J”に設定します。

▲▼ スイッチを押してb→J→Eの繰り返し

⑦入力し終えたら SET スイッチを長押しします。

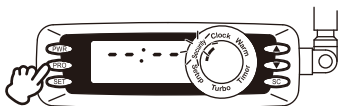
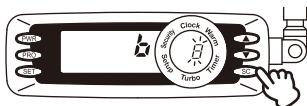
15秒間、何も押さないと自動的に終了

重度警報音を設定します。(連続微振動、電圧変化検出、カーテシ検出時)

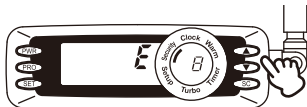
(例) 重度警報を英語に設定する場合

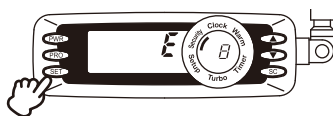
①イグニッションキーをONの位置にします。
(バッテリーがあがらないよう設定時は、電装品の電源をOFFにすることをお勧めします。)

②アンテナユニットの電源がONの状態になります。ONになっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにして下さい。

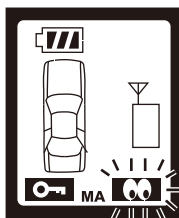
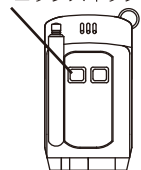
③ PRO スイッチを押してSECURITYモードに合わせます。

注 最初はCLOCKから始まります。PROGRAMスイッチを押す度にモード表示マークが順に変わります。

④ SC スイッチを押してセレクトNo.8を点滅表示させます。

⑤ SET スイッチを押して"b”を点滅させます。

⑥ ▲▼ スイッチで"E”に設定します。

⑦入力し終えたら SET スイッチを長押しします。

15秒間、何も押さないと自動的に終了

■セキュリティー機能を使う

□セキュリティー機能のスタート方法

1 リモコンを開けた状態でセキュリティーマークがONになっているのを確認します。
注　工場出荷時はONになっています。セキュリティー機能を使用しない場合はリモコンの電池消耗を防ぐ為にOFFにすることをお勧めします。

2 リモコンを閉じた状態でドアロックスイッチを押します。

リモコンを開けてセキュリティーマークがキョロキョロしているか確認して下さい。

注　セキュリティーマークがキョロキョロしていないとリモコン警報を行いません。

※　セキュリティー機能をスタートすると同時にドアロックします。(ドアロック配線時のみ)

3 車輌側アンテナユニットがリモコンの電波を受信すると、リモコンから「受信OK音」が流れ、スタートします。

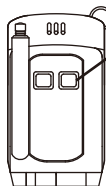
※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

ウォーニングランプ

受信と同時にアンテナユニット後方のウォーニングランプが点滅します。(設定時)

通信距離範囲外の場合、アンテナユニットが受信できないと、リモコンから「NG音」が流れセキュリティースタートしません。

□セキュリティー機能のストップ方法

1 リモコンを閉じた状態でドアアンロックスイッチを押します。

※セキュリティーマークが消灯でもセキュリティーストップと連動でドアアンロックします。

2 車輌側アンテナユニットがリモコンの電波を受信すると、リモコンから「受信OK」が流れます。

※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

ウォーニングランプ

受信と同時にアンテナユニット後方のウォーニングランプが点滅します。(設定時)

車輌側アンテナユニットが受信できないと、「NG音」とリモコンから鳴ります。

■受信感度表示

セキュリティーモードに設定している場合、リモコンとアンテナユニットとの通信状態をリモコンの画面に表示させることができます。リモコンをどの場所に置けば受信できるかわかります。

□通信状態を表示させる

1 受信感度表示は1分ごとに車輌アンテナユニットからの信号を更新します。
(アンテナユニットからの信号を受信できない場合は A0 と表示されます。)

受信感度レベルの目安と内容

	アンテナユニットとの通信状態
A0	全く受信できない
A1	電波が途切れやすい
A2	受信しやすい
A3	受信できる

1分ごとにアンテナユニットから受信感度信号を送信します。

●セキュリティースタート(目玉がキョロキョロ)しないと受信感度表示されません。
●キーONになっていると受信感度状態はA0で表示されます。

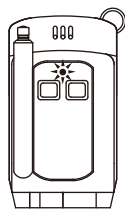
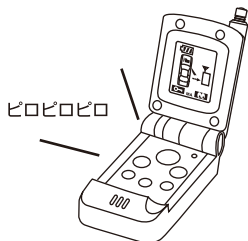
⚠注意

受信感度表示はあくまでも目安値となります。使用環境によってはA1～A3表示されていても電波が途切れ、作動しない場合があります。
又、ロッドアンテナを縮めた状態では、伸ばした状態より極端に通信距離が短くなります。

■車輌異常があった場合の警報について(電圧変化又は、カーテシ検出異常があった場合)

車輌に異常があった場合、リモコンで警報します。

車輌に電圧変化検出又はカーテシ検出異常があった場合

リモコンを開いている場合　　リモコンを閉じている場合

車輌に電圧変化又はカーテシ検出異常をリモコンが受信するとドアマークが点灯して
「ピロピロピロ」とリモコンが約60秒間鳴り続けます。※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

※　アンテナユニットはリモコンに車輌異常を知らせると同時にアンテナユニット後方のウォーニングランプがフラッシュ点滅します。(約40秒間)
リモコンを閉じている状態で車輌異常を受信すると充電・警報ランプ光り音が鳴ります。

リモコンの音と充電・警報ランプを止めたい場合はリモコンの警報ストップスイッチを押します。

（その際、セキュリティーストップしますので、セキュリティースタートするにはもう一度
リモコンのドアロックスイッチ（セキュリティーマークON）を押して下さい。）

車輌に振動検出異常があった場合

注　振動検出はオプション拡張振動センサー(SS-053)をOP1、2ポートに接続しないと、作動しません。

リモコンを開いている場合　　リモコンを閉じている場合

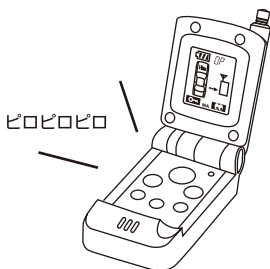
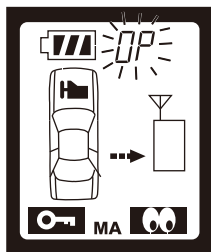
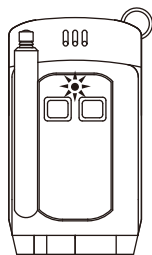
車輌に振動検出異常をリモコンが受信するとドアマークが点灯して
「ピロピロピロ」とリモコンが約60秒間鳴り続けます。※リモコンアンサーバック音を有効にした場合

※　アンテナユニットはリモコンに車輌異常を知らせると同時にアンテナユニット後方のウォーニングランプがフラッシュ点滅します。(約40秒間)
リモコンを閉じている状態で車輌異常を受信すると充電・警報ランプ光り音が鳴ります。

リモコンの音と充電・警報ランプを止めたい場合はリモコンの警報ストップスイッチを押します。

（その際、セキュリティーストップしますので、セキュリティースタートするにはもう一度
リモコンのドアロックスイッチ（セキュリティーマークON）を押して下さい。）

■車輛異常があった場合の警報について(OP3ポートに次期発売予定オプションセンサーを取付けた場合)

車輛にOP3ポートに接続したオプションセンサーが感知した場合、リモコンに警報します。
そのとき、アンテナユニットのウォーニングランプも点滅します。

リモコンを開いている場合

リモコンを閉じている場合

リモコンが受信すると"OP"が点灯して「ピロピロピロ」とリモコンが約60秒間鳴り続けます。
(リモコンアンサーバック音を有効にした場合)

リモコンの音と充電・警報ランプを止めたい場合はリモコンの警報ストップスイッチを押します。

（その際、セキュリティーストップしますので、セキュリティースタートするにはもう一度
リモコンのドアロックスイッチ（セキュリティーマークON）を押して下さい。）

※1. アンテナユニットはリモコンに車輛異常を知らせると同時にアンテナユニット後方のウォーニングランプがフラッシュ点滅します。(約40秒間)
リモコンを閉じている状態で車輛異常を受信すると充電・警報ランプ光り音が鳴ります。

※2. リモコンでセキュリティースタートしてから、キャンセルタイマー設定時間＋30秒経過した後、OP3のオプションセンサーがはたらきます。

■警報音を止めるには

車輛に取付けたスピーカーユニット警報音を止めるには下記の操作のどれかをすることでセキュリティーがストップします。

1. リモコン警報ストップスイッチを押します。
2. ドアアンロックスイッチを押します。
3. キーをONまで回します。

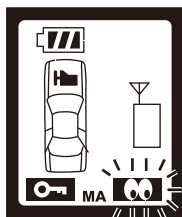
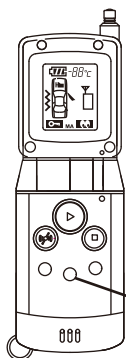
■パニックアラーム警報について

付属のスピーカーユニットの警報音を確認するために使用します。

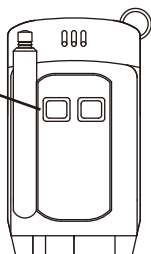
□パニックアラームのスタート方法

1 リモコンを開けます。

リモコン液晶表示にセキュリティーマークが点灯しているか確認します。
※セキュリティーマークが消灯している場合はセキュリティースイッチを長押しします。

注　工場出荷時はONになっています。セキュリティー機能を使用しない場合は、リモコンの電池消耗を防ぐ為にOFFにすることをお勧めします。

セキュリティーマークが点灯します。

セキュリティーON/OFFスイッチ

2 リモコンを閉じた状態でドアロックスイッチ(セキュリティー連動)を3秒間長押しします。

3 車両側アンテナユニットが受信すると、リモコンから「受信OK音」が流れます。

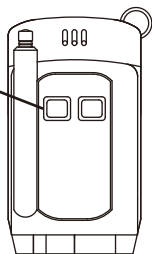
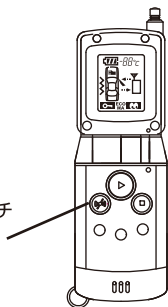
パニックアラーム音は重度警報音が鳴動します。

アンテナユニットが受信できないと、
リモコンから「NG音」が流れます。
(メロディー・ブザー音設定の場合)

■振動警報解除モードについて

外出の際、頻繁に振動がある立体駐車場等、誤作動で警報しないよう一時的に振動センサーのみをOFFにできる機能です。

□振動警報解除モードのスタート方法

1 リモコンを閉じた状態でドアロックスイッチ(セキュリティー連動スタート) を押します。

2 リモコンでセキュリティースタートさせた状態で警報ストップスイッチを3秒間長押しします。
リモコンに受信OK音のアンサーバックが返ってくれば設定終了です。

アンテナユニットが受信できないと、
リモコンから「ショックな音」が流れます。
(メロディー・ブザー音設定の場合)

3 振動警報解除モードをストップするにはリモコンで下記の操作のどれかをすることでキャンセルされます。

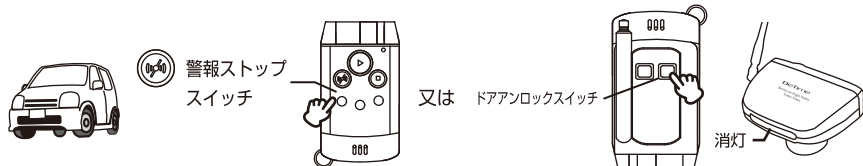
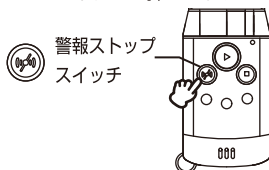
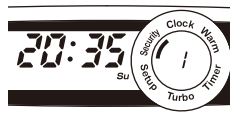
1. 警報ストップスイッチを押します。
2. ドアアンロックスイッチを押します。
3. キーをONまで回します。

■履歴表示機能について

車輌に電圧変化又は振動検出がおきた時の履歴時刻を表示します。リモコン電波が届かない場所にいた場合に、車輌異常の有無を確認できます。確認した時から最大21件まで過去の履歴時刻を表示可能です。

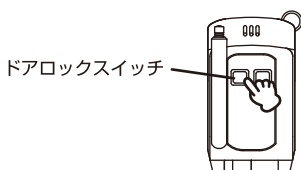
●履歴表示方法　セレクトNo.1=電圧変化検出履歴、セレクトNo.2=振動検出履歴

1 エンジンを停止し、IGキーOFFにします。セキュリティー機能をONしている場合はリモコンの 警報ストップスイッチ又はドアアンロックスイッチを押してセキュリティー機能をOFFにします。

又は

2 もう一度リモコンの Warning Alarm STOPスイッチを押します。

3 アンテナユニットが履歴表示します。
例：日曜日の20時35分に電圧変化があった場合
セレクトNo.1（電圧変化履歴時刻）とその曜日（日曜日）
が約10秒間表示されます。
※電圧変化と振動の異常検出履歴がなければ、何も表示されません。

4 ▲ スイッチを押す度に電圧変化と振動の異常検出した順に履歴時刻がさかのぼります。

例：日曜日の2時20分に振動検出異常があった場合

※約15秒間放置すれば履歴表示は消灯します。もう一度、履歴表示を確認する場合は再度リモコンの 警報ストップスイッチ又はドアアンロックスイッチを押してセキュリティー機能をOFFにします。

5 ドアロックスイッチを押すと、全履歴を消去します。

機能説明（ワイヤレスドアロック機能について/配線方法）

本製品は車輌ドアロック・アンロック線に接続することにより、リモコンでドアロック・アンロック作動させることができます。

■接続方法

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。また、本製品以外に別売ワイヤレスドアロックアダプターを必要とする車種がありますので注意してください。

Aタイプ‥‥‥本製品だけで(オプション品を購入しなくても)作動するタイプ
　適応車種‥ほとんどのトヨタ車

Bタイプ‥‥‥別売ワイヤレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ
　適応車種‥トヨタ車以外

※但し、下記に示す車輌には使用できません。
●弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック･アンロック作動可能と明記のない車種。
●トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。　●多重通信車
●集中ドアロック制御できない車種。
●当社以外のセキュリティーシステム装着車(ドアロック連動タイプ)

■接続方法

Aタイプ　本製品だけで(オプショ品を購入しなくても)作動するタイプ

1　接続概要図

2　車輌側ドアロック・アンロック線を探してください。

ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。

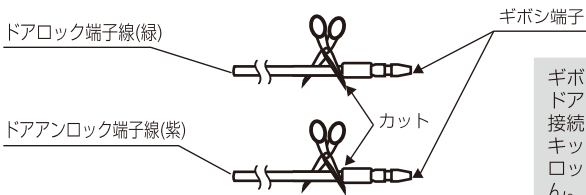
※場所は車種によって異なります。

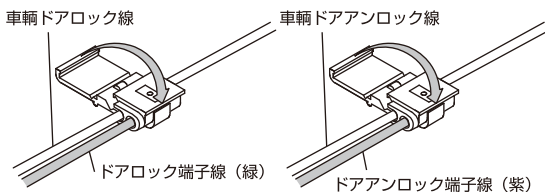
ドアロック線(通常12V)※1
ドアロック動作時→0V 動作後→12V※1

ドアアンロック線(通常12V)※1
ドアアンロック動作時→0V 動作後→12V※1

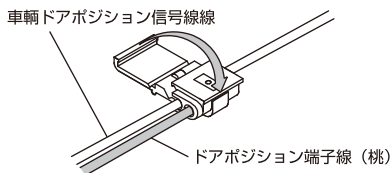
※1.一部の車種でパルス信号のため12V出力しないものがあります。

Aタイプの続き

3 ドアロック・ドアアンロック端子線のギボシ端子をカットします。

ギボシ端子はオプションワイヤレスドアロックアダプター（Be-965)を接続する場合に必要ですが、本配線キットのみでドアロック、ドアアンロック作動する車種は必要ありません。

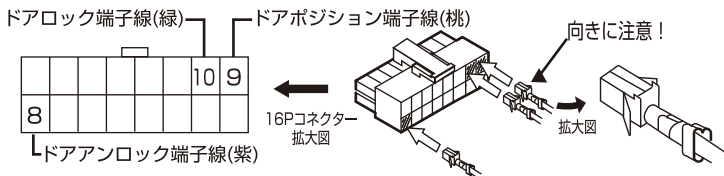
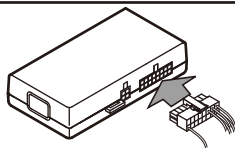
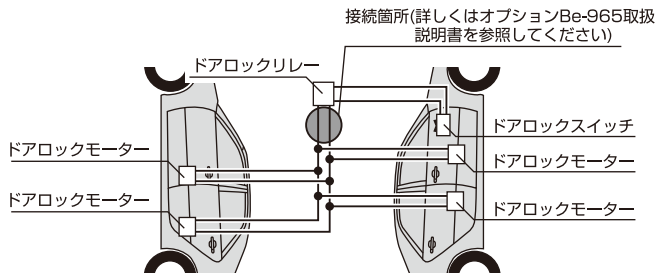
4 ドアロック・ドアアンロック端子線（緑・紫）を項目 **2** で探した車輌ドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。

※確認（必ず行ってください）
エレクトロタップで接続後、延長線をボディーアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

5 項目 **4** の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（トヨタ系又はニッサン系の一部車輌）
ドアアンロックが作動する場合は、項目 **7** へ進んでください。

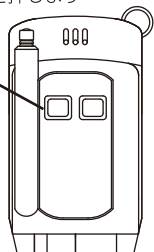
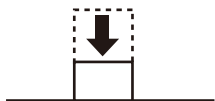
ドアロックノブを操作してロック時に12V※2、アンロック時に0Vになる線を探します。
※2.一部の車種で、パルス信号のため、12V出力しないものがあります。

※確認（必ず行ってください）
エレクトロタップで接続後、ドアポジション端子線、ドアアンロック端子線をボディーアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

7 16PコネクターのNo.8にドアアンロック端子線(紫)を
〃　　No.9にドアポジション端子線(桃)を
〃　　No.10にドアロック端子線(緑)を
しっかり差し込んでください。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

ドアロック端子線(緑)
ドアポジション端子線(桃)
10 9
8
ドアアンロック端子線(紫)
16Pコネクター拡大図
向きに注意！
拡大図

8 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。

Bタイプ　別売ワイヤレスロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

■ドアロック機能を使う

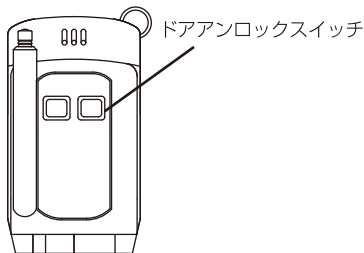
□ドアをロックさせる

1 リモコンを閉じた状態でドアロックスイッチを押します

2 車輌側アンテナユニットが受信すると、
リモコンから「受信OK音」が流れ、
ドアロックします。

※アンテナユニットが受信できないと、
リモコンから「NG音」が流れドアロック
しません。

3 セキュリティー機能を設定している場合、
同時にセキュリティースタートします。

受信と同時にアンテナユニット後方の
ウォーニングランプが点滅します。(設定時)

□ドアをアンロックさせる

1 リモコンを閉じた状態でドアアンロック
スイッチを押します。

※セキュリティーマークが消灯でもセキュリティー
ストップ連動でドアアンロックします。

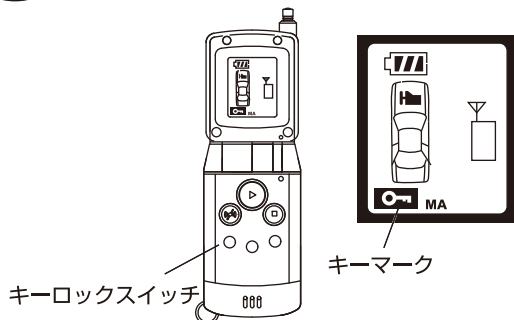
2 車輌側アンテナユニットが受信すると、
リモコンから「受信OK音」が流れ、
ドアアンロックします。

セキュリティー機能を設定している場合、同時に
セキュリティーストップします。

受信と同時にアンテナユニット後方の
ウォーニングランプが消灯します。

■ドアロックスイッチ操作を無効にする

本リモコンはポケットの中に入れた場合等で誤作動しないようドアロック・ドアアンロックスイッチ操作を無効にすることができます。
(工場出荷時は有効)

スイッチを長押ししてリモコン液晶画面内の　マークを消灯させせます。

もう一度　スイッチを長押しするとドアロック・アンロックスイッチ操作を有効にできます。

■オートドアロック機能について

リモコンドアロック操作を手動で行う場合、アンロック作動してから約30秒後に自動的にロックされますのでご注意下さい。

□オートドアロック機能を解除するには

一時的に解除する場合

リモコンドアアンロック作動してから約30秒以内にカーテシ配線しているドアを開けた場合。

リモコンドアアンロック作動してから約30秒以内にキーをONまで回した場合。

永久に解除する場合

①キーをOFFからACCに回して2秒以上待ちます。

②キーをOFFにします。

③キーをONまで回し2秒以上回します。

④キーをOFFにします。

⑤リモコンドアアンロックスイッチ(UNLOCK)を押します。

永久解除された場合、インジケーターパネルがON、OFF　2回作動します。

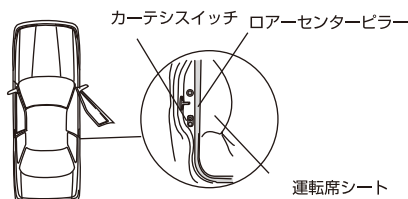
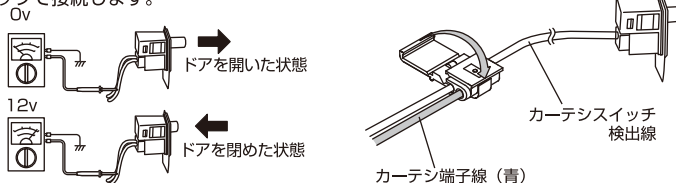
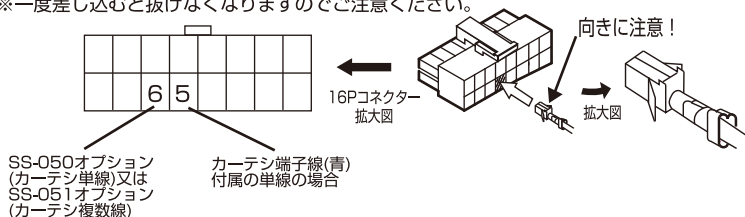
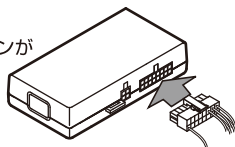
再度、復帰させる場合、上記①〜⑤の動作をもう一度行います。

解除された場合、インジケーターパネルがON、OFF　1回作動します。

カーテシ配線について

■カーテシ検出の設定

電圧センサーボリュームで調整をしてもドアオープン時、リモコンへ警報しない場合は、車輌カーテシ線に直接配線する必要があります。
又、リモコンでエンジン始動させた場合、ドアを開けてから、15秒後にエンジンが停止します。

1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。

2 車輌側カーテシ検出線をテスター等で探し,カーテシ端子線（青）と車輌側カーテシ検出線をエレクトロタップで接続します。

3 16PコネクターのNｏ.5にカーテシ端子線(青)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

4 メインユニットにコネクターを差し込んでください。
リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約15秒後にエンジンが停止するか確認してください。
(その時アンテナユニット表示部がE-5を表示します)

1. 電圧センサーをOFFに設定してもカーテシを行ったドアを開けることで、警報が鳴ります。
2. カーテシ配線を2箇所以上で取る場合はオプションカーテシ配線(単線SS-050、複数線SS-051)を接続することができます。
3. カーテシ配線した場合、電圧センサー検出をOFFにして下さい。(P43参照)

■車内温度表示機能について

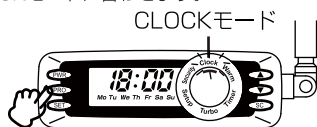
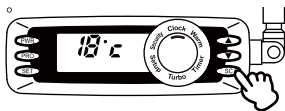
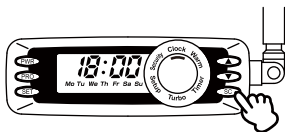
車内温度をアンテナユニットに表示させる事ができます。

1 イグニッションキーをONの位置にします。

2 アンテナユニットの電源がON状態になります。
ON状態になっていない場合はアンテナユニットの PWR スイッチを押して電源をONにしてください。

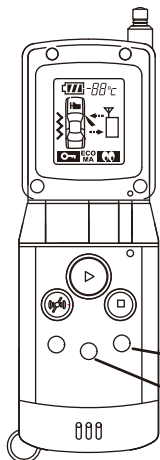
※ディスプレーはウォーム時間を表示しています。

3 PRO スイッチを押してCLOCKモードに合わせます。

CLOCKモード

4 SC スイッチを押します。
現在の温度が表示されます。(1℃単位)
※車内温度は温度センサーがメインユニットに内蔵されている為、クーラーやヒーターの影響を受け、実際の温度とは若干異なります。

5 もう一度 SC スイッチを押すと、現在の時刻表示に戻ります。

■デモモード機能を使う

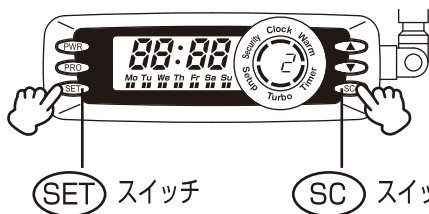
店頭などで本製品の表示の仕方をお客様に知ってもらう目的でデモンストレーション動作を行うことができます。

●リモコンデモモードの表示方法

1. リモコンを開けた状態にします。
2. （◉◉/♪） と （E/M） スイッチを同時に5秒以上押します。
   表示画面がいろいろな表示をすれば正常です。

デモモードを設定すると、リモコンによるエンジンスタートが出来なくなります。
デモモードを長時間行う場合は必ず付属のACアダプターを接続してご使用下さい。

通常のリモコンによるエンジンスタートをする場合はもう一度 （◉◉/♪） と （E/M） スイッチを同時に5秒以上押します。

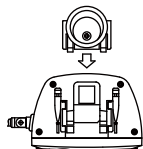
●アンテナユニットデモモードの表示方法

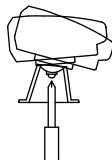
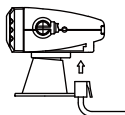
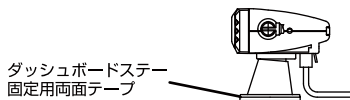
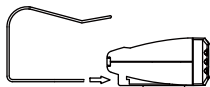
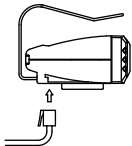
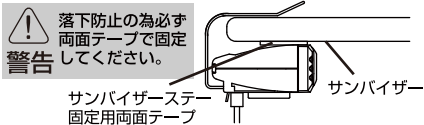
1. （SET） と （SC） スイッチを同時に5秒以上押します。
   表示画面がいろいろな表示をすれば正常です。

デモモードを設定すると、リモコンによるエンジンスタートが出来なくなります。

通常のリモコンによるエンジンスタートをする場合はもう一度 （SET） と （SC） スイッチを同時に5秒以上押します。

■アンテナユニットの取付け・配線

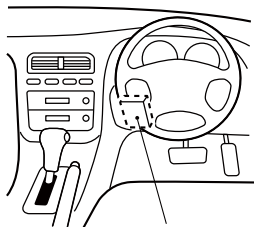
注意
・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

1 ダッシュボードに取付の場合は、ダッシュボードステーをアンテナユニットの下部へスライドしてはめ込みます。

アンテナユニットを裏から見た図

2 アンテナユニットの角度を決定し、ドライバーで固定します。

3 アンテナユニットに接続ケーブルを差し込みます。

4 ダッシュボードステーの底面に両面テープを貼り、ダッシュボードに固定します。

1 サンバイザーに取付の場合は、アンテナユニット後部の差し込み口へサンバイザーステーを差し込みます。

2 アンテナユニットに接続ケーブルを差し込みます。

3 アンテナユニットとサンバイザーの隙間に両面テープを貼り、サンバイザーに固定します。

警告 落下防止の為必ず両面テープで固定してください。

■メインユニットの取付け

注意
・メインユニットの固定・配線を行う前に、作動確認（P12〜14）を行ってください。
・エアコンやヒーター等の熱風を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付は避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックを使ってしっかりと固定してください。
（アンダーカバー内側等）

（例：この部分に取付けます。）

運転するには

■運転するには

本機リモコンでエンジンをかけた状態だけでは走行できません。
運転するときは、必ずキーをONの位置までまわしてから走行してください。
※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずにONの位置まで回してください。
（フットブレーキ配線をしている時は、キーをONにしない状態でフットブレーキを踏むとエンジンが止まります。）

⚠ 注意

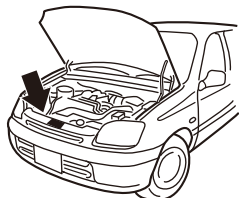
・キーをセルの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
・キーをONの位置までまわさずに走行すると、走行中エンジンが停止し、パワーステアリングが効かなくなる等大変危険です。

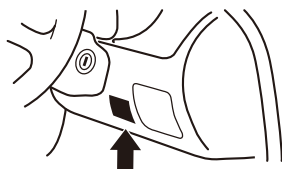
警告ステッカーの貼り付け場所

■警告ステッカーについて

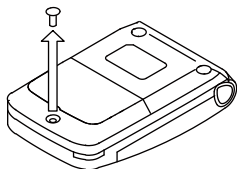
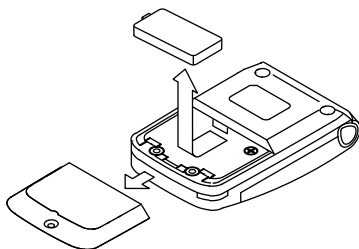
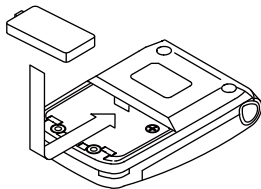
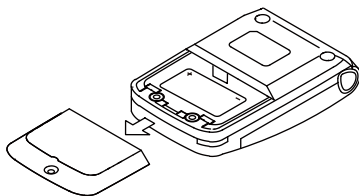
・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。

2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。

■リモコンの電池交換について

⚠ 注意

・リモコン電池はニッケル水素電池(GP5M60)を使用しています。充電を行っても作動しない状態が頻繁におこるようであれば電池の寿命が考えられます。ニッケル水素蓄電池(GP5M60)はお近くの販売店でお買い求めの上、電池交換してください。
また、交換した電池はリサイクル可能なニッケル水素蓄電池ですので、販売店員にお渡しください。
ご不明な点がございましたら、弊社サービス部(0561-36-5654)までご連絡ください。

■リモコンを紛失または破損した時は

新しいリモコン(別売)だけを購入すればIDコードをアンテナユニットに再登録することによりすぐにご使用いただけます。

別売リモコン　オープン価格
IDコードの登録方法はP21(IDコードの登録)に記載しています。

故障かな？と思ったら

■エンジンスターター

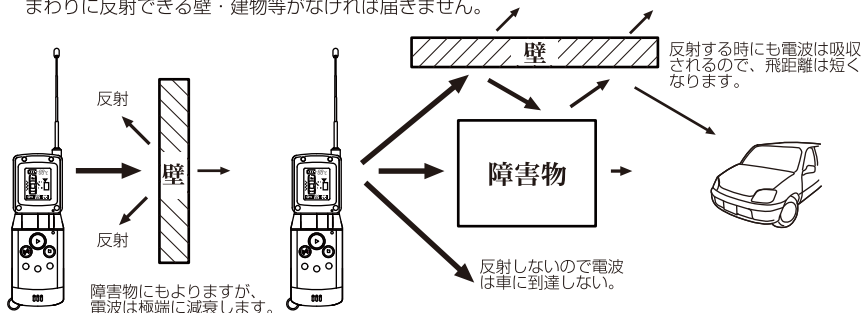
症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・専用ハーネスは車に適合し、確実に接続されていますか？	・適合した専用ハーネスをご使用し、確実に接続してください。
	・アースはとれていますか？	・アースを確実にとってください。
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。(P71)
	・本体内の「IDコード」が消失している可能性があります。	・P21の「IDコードの登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・専用ハーネスは車に適合し、確実に接続されていますか？	・適合した専用ハーネスをご使用し、確実に接続してください。
	・アンテナユニットのランプ表示が点滅していませんか？	・P17の「エラー確認表」を参照し、P14~15の「作動確認」を行ってください。
	・アンテナユニットのPOWERランプ(緑）とERRORランプ（赤）が点灯していませんか？	・P21の「IDコードの登録」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンは始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか？	・P31「アイドリング時間の設定」を参照し確認してください。
	・アース不良が発生していませんか？	・アースを確実にとってください。

■ターボタイマー

症状	確認内容	対処方法
ターボタイマーが作動しない。 （ACC電源が切れる）	・ターボタイマー機能が設定されていますか？（出荷時の設定はOFFです）	・P34～35「ターボタイマー時間の設定」を参照し設定してください。
	・アンテナユニットにE-1表示していますか？(P17)	・フットブレーキを踏みながら、イグニッションキーをOFFにしていませんか？

■電波の到達距離について（電波特性）

・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する。）

・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。

■送信機（リモコン）

技術基準	ARIB標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
受信感度	－116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵フレキシブルアンテナ
動作温度範囲	－20℃～＋60℃
使用電池	角型ニッケル水素蓄電池　(GP5M60)
ケース寸法	42.7（W）×126.5（H）×22.0（D）mm(開いた状態) 42.7（W）×74.5（H）×24.6（D）mm(閉じた状態)
重量	65g（電池含む）

■アンテナユニット

技術基準	ARIB標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
受信感度	－116dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1／4λホイップアンテナ
動作温度範囲	－20℃～＋70℃
電源電圧	12v車専用(DC8v～16v)
消費電流	待機時13mA以下(セキュリティーモードオフの時)
ケース寸法	80.0(W)×56.0(H)×26.0(D)mm
重量	85g

■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	40A×2（IG1・IG2） 25A×4（ACC・ST1・ST2・ST- CONT ）
寸法	66.5（W）×127.5（H）×29.0（D）mm
重量	275g